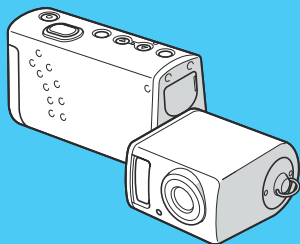
SONY

3-084-891-**02** (1)

取扱説明書

サイバーショット

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別紙の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Cyber-shot U

DSC-U50

© 2003 Sony Corporation

目次

困ったときは

その他

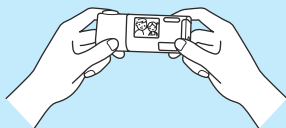
用語の解説／索引

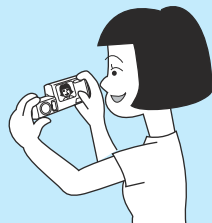
こんなことができます

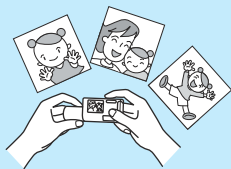
静止画を撮る

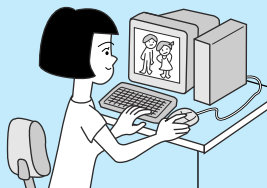
→ 17～24ページ

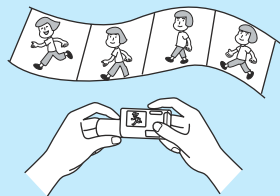
静止画を見て楽しむ

→ 35～45ページ

レンズ部を回転させて撮る

→ 23ページ

いろいろな静止画を撮る

→ 25～34ページ

パソコンに取り込んで見る

→ 53～82ページ

動画を撮る／見る

→ 46～49ページ

困ったときは

→ 83～94ページ

お使いになる前に

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

画像の互換性について

- 本機は、(社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された統一規格 " Design rule for Camera File system "に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

" メモリースティック　デュオ "について

- " メモリースティック "には標準サイズのものとその小型サイズの" メモリースティック　デュオ "があります。本機には小型サイズの" メモリースティック　デュオ "のみお使いになれます。
- 本機は電池/" メモリースティック　デュオ "カバーを開けると電源が切れます。" メモリースティック　デュオ "のアクセスランプが点灯しているときは、電池/" メモリースティック　デュオ "カバーを開けないでください。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機に振動や衝撃を与えないでください!

誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、" メモリースティック　デュオ "が使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

液晶画面、液晶ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについて

- 液晶画面や液晶ファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので安心してお使いください。
- 液晶画面や液晶ファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 本機をご使用にならないときは、レンズ部を元の位置に戻してください。

フラッシュ表面の汚れは取り除いてご使用ください！

発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりしてフラッシュが充分な量を発光できない場合があります。

湿気にご注意ください！

雨の日などに屋外で撮影するときは、本機をぬらさないようにご注意ください。
結露が起きたときは、結露を取り除いてからご使用ください（98ページ）。

砂やほこりにご注意ください！

砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。

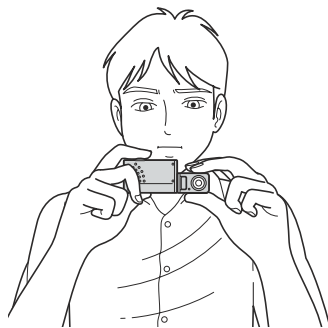
使用する場所について

強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。

本書中の画像について

画像の例として本書に掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

商標について

- "メモリースティック　デュオ"および"MEMORY STICK DUO"はソニー株式会社の商標です。
- "メモリースティック　PRO　デュオ"および"MEMORY STICK PRO DUO"はソニー株式会社の商標です。
- "MagicGate Memory Stick Duo"("マジックゲート メモリースティック　デュオ")はソニー株式会社の商標です。
- "Memory Stick"("メモリースティック")、MEMORY STICK TM および"MagicGate Memory Stick"("マジックゲート メモリースティック")はソニー株式会社の商標です。
- "メモリースティック　PRO"および"MEMORY STICK PRO"はソニー株式会社の商標です。
- "マジックゲート"および"MAGICGATE"はソニー株式会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、iBookおよびPower Macは、Apple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

- 本機で撮影するときは、フラッシュやレンズを指でふさがないようご注意ください。
- レンズ部を回転させて対面撮影することもできます（23ページ）。

各部のなまえ

カッコ内の数字はページ数です。

シャッターボタン（20）

パワー
POWER
ボタン（14）

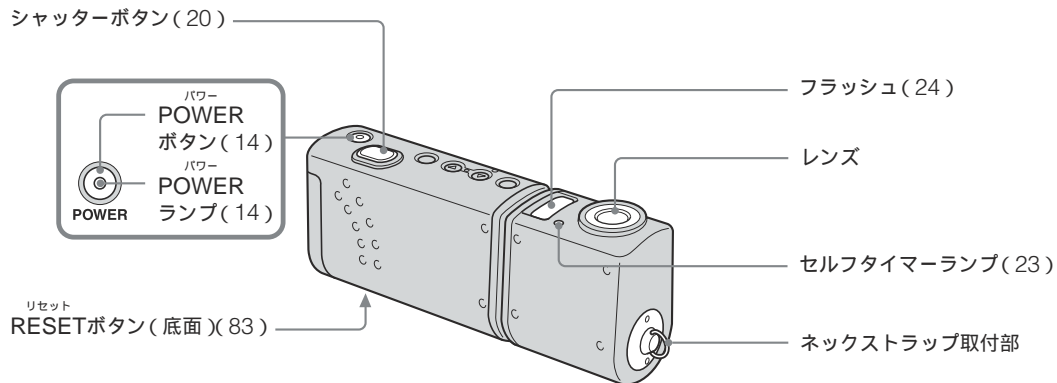
パワー
POWER
ランプ（14）

POWER

リセット
RESET**ボタン（底面）**（83）

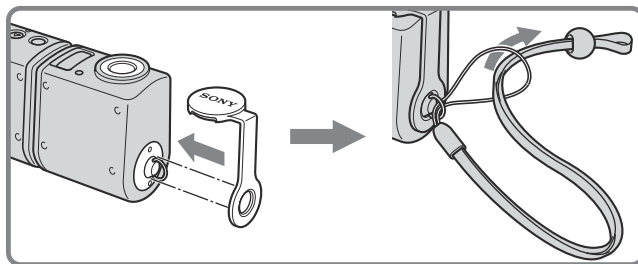
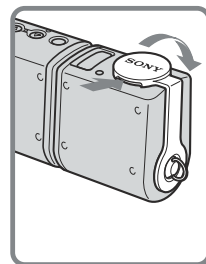
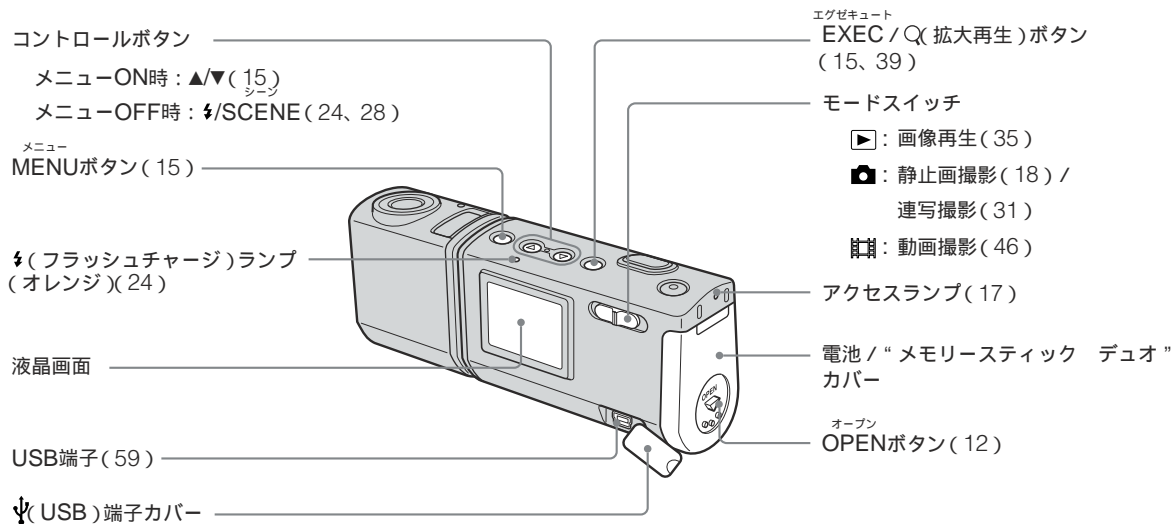
フラッシュ（24）

レンズ

セルフタイマーランプ（23）

ネックストラップ取付部

レンズキャップ、ネックストラップの取り付けかた

レンズキャップの開けかた

コントロールボタン
メニューON時：▲/▼（15）
メニューOFF時：ϟ/SCENE（24、28）
シーン
メニュー
MENUボタン（15）
ϟ（フラッシュチャージ）ランプ（オレンジ）（24）
液晶画面
USB端子（59）
(USB) 端子カバー
エグゼキュート
EXEC／Q（拡大再生）ボタン（15、39）
モードスイッチ
：画像再生（35）
：静止画撮影（18）／
連写撮影（31）
：動画撮影（46）
アクセスランプ（17）
電池／“メモリースティック　デュオ”カバー
オープン
OPENボタン（12）
OPEN

電池を準備する

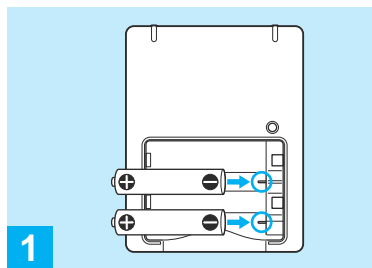
使用できる電池

単4形ニッケル水素電池2本
「NH-AAA-DA」　2本（付属）
「NH-AAA-2DA」2本パック（別売り）
単4形アルカリ電池2本

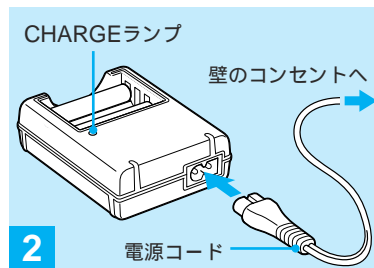
使用できない電池

マンガン電池、リチウム電池、ニカド電池
上記の電池を使用した場合、電池の特性上、電圧低下等で動作性能保証ができないことがあります。また、電池残量表示については正しく表示されません。

- **単4形アルカリ電池使用時は、以下の点にご注意ください。**
  —付属のニッケル水素電池使用時と比べると、使用時間が短くなります。
  —電池のメーカーや種類によって性能のばらつきが大きく、使用時間の目安に対して極端に短くなる場合があります。特に低温下では著しく弱まります。+5°C以下では撮影できないことがあります。
  —電池残量表示が正しく表示されません。

電池を充電する

➡ バッテリーチャージャー（付属）にニッケル水素電池を⊕、⊖の表示に従って正しく入れる

付属のバッテリーチャージャーについては103ページをご覧ください。

- **付属のバッテリーチャージャーは、ニッケル水素電池専用です。アルカリ電池など、ニッケル水素以外の電池は充電できません。**
- 付属のニッケル水素電池を初めてご使用になる前には必ず充電してください。
- バッテリーチャージャーは、お手近なコンセントを使用してください。

➡ 電源コードをバッテリーチャージャーと壁のコンセントにつなぐ

充電が始まり、CHARGEランプが点灯します。CHARGEランプが消灯したら充電が完了です。

- 充電が完了して、CHARGEランプが消えても電源から遮断されていません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、電源コードをコンセントから抜いてください。
  ニッケル水素電池をバッテリーチャージャーから取り出してください。

充電時間について

ニッケル水素電池	充電時間
NH-AAA-DA×2（付属）	約6時間

使い切ったニッケル水素電池を温度25°Cの環境で、付属のバッテリーチャージャーで充電したときの時間です。

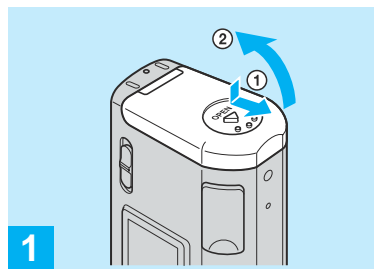
- 約6時間で充電が終了します。CHARGEランプは6時間以上点灯することがありますが故障ではありません。
- 別売りのスタミナ急速充電キットに付属のバッテリーチャージャーBC-CSQ2をお使いになると、充電時間が短縮できます。

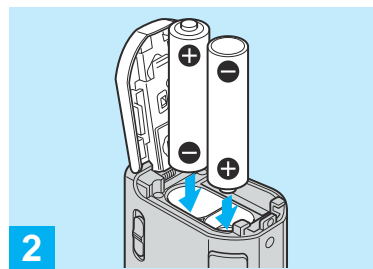
  充電時間
  単4形ニッケル水素電池2本の場合：約1時間25分
  単4形ニッケル水素電池4本の場合：約2時間50分

ニッケル水素電池について

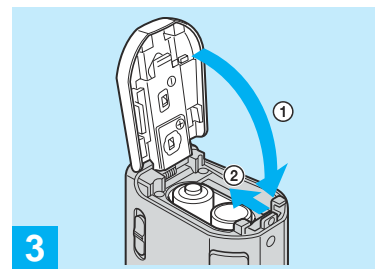
- ニッケル水素電池の電極が汚れていると、正常に充電できない場合があります。電池の電極とバッテリーチャージャーの端子の汚れを、時々乾いた布などで拭き取ってください。
- ニッケル水素電池を持ち運ぶときは、必ず付属の電池ケースに入れてください。金属類で＋、－がショートすると発熱、発火の危険があります。
- お買い上げ時や、長い間使わなかったニッケル水素電池は充分充電されないことがあります。これは電池の特性によるもので故障ではありません。この場合、充電して使用することを数回繰り返すと、正常な状態に戻ります。
- ニッケル水素電池は、使用しないときでも自然放電により容量が低下します。ご使用になる直前に充電することをおすすめします。
- ニッケル水素電池は容量が残っている状態で繰り返し充電されるとメモリー効果*が発生して早めに電池残量警告が表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電することで正常な状態に戻ります。

  * メモリー効果：一時的に電池の容量が低下したような特性を示す現象
- 電池の外装シールをはがしたり、傷つけたりしないでください。外装シールの一部またはすべてをはがしている電池や破れのある電池は絶対に使用しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり、やけどやけがをする恐れがあります。またバッテリーチャージャーの故障の原因となります。

電池を入れる

➡ OPENボタンを押したまま、電池／“ メモリースティック デュオ ”カバーを開ける

電池／“ メモリースティック　デュオ ” カバー側を上に向けてから、矢印の方向にスライドさせると上に開きます。

➡ 電池を入れる

電池の＋極、－極を電池ケース内部の＋、－の表示に合わせて入れます。

- 電池の電極と本機の電池／“ メモリースティック　デュオ ”カバーの電池端子部は時々乾いた布などで汚れを拭き取ってください。電極や電池端子部に皮脂などの汚れがあると、動作時間が極端に短くなることがあります。

➡ 電池／“ メモリースティック デュオ ”カバーを閉める

カバーで電池を押し込みながら閉じます。カバーをしっかりと閉じてください。

電池を取り出すには

電池／“ メモリースティック　デュオ ” カバー側を上に向けて開いてから、電池を取り出してください。

- 電池／“ メモリースティック　デュオ ”カバーを開閉するときは電池が落下しないようにご注意ください。

電池残量表示（ニッケル水素電池使用時）

電池の残量が少なくなると、電池残量表示は以下のように表示されます。

残量表示	電池残量の目安
（電池マーク）	充分あります。
（電池マーク）	少なくなりました。
（電池マーク）	撮影、再生がもうすぐできなくなります。
（電池マーク・点滅）	充電済みのニッケル水素電池と交換するか、充電してください。（警告表示が点滅します）

- 画面表示をオフにしているときはメニューの［▭］で［画面表示］を［入］にして電池残量表示を確認してください。
- 使用状況や充電状態、環境によって正しく表示されないことがあります。
- USB接続時は電池残量は表示されません。

電池の使用時間と撮影／再生可能枚数

次の表は［フォーカス］が［オート］のときに、充電した電池で温度25℃の環境で使用した場合の目安です。また、撮影／再生枚数は付属の“メモリースティック デュオ”を交換しながら撮影／再生したときの目安です。ご使用の状況によって記載より少ない数値になる場合があります。

静止画を撮影するとき

標準撮影[1)]

ニッケル水素電池

画像サイズ	NH-AAA-DA×2（付属）		
	LCDライト	撮影枚数	使用時間
2M	入	約160枚	約80分
	切	約170枚	約85分
VGA	入	約160枚	約80分
	切	約170枚	約85分

アルカリ電池

画像サイズ	単4形アルカリ電池×2（別売り）		
	LCDライト	撮影枚数	使用時間
2M	入	約50枚	約25分
	切	約60枚	約30分
VGA	入	約50枚	約25分
	切	約60枚	約30分

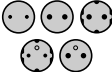
- ソニー製アルカリ電池使用時

1) 以下の設定で撮影
– 30秒ごとに1回撮影
– 2回に1度、フラッシュを発光
– 10回に1度、電源を入／切する

静止画を再生[2)]するとき

画像サイズ	NH-AAA-DA×2（付属）	
	再生枚数	使用時間
2M	約3600枚	約180分
VGA	約3600枚	約180分

2) 約3秒ごとに1枚表示画面を順番に再生。
上記は［LCDライト］を［入］にしたときの数値です。

海外で使うときは

動画を撮影[3]するとき

NH-AAA-DA×2（付属）		
	LCDライト	使用時間
連続撮影時	入	約90分
	切	約100分

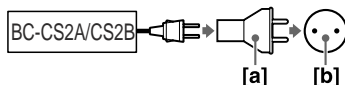
3) 画像サイズが160×112の場合の連続撮影

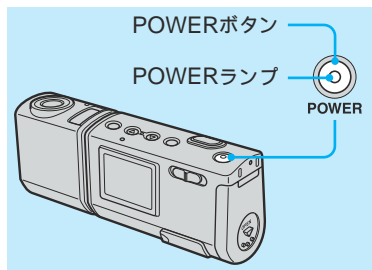
- 次のような場合は、使用時間と撮影／再生枚数が表示より少なくなることがあります。
  – 周囲が低温のとき
  – フラッシュを使用しているとき
  – 電源の入／切を繰り返したとき
  – ［LCDライト］が［入］になっているとき
  – 使用回数を重ねたり、時間が経過して、電池の容量が低下したとき（102ページ）

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	変換プラグアダプター
主に北米など	不要です。
主にヨーロッパなど	

本機は海外でもお使いになれます。

- 付属のバッテリーチャージャーは全世界の電源（AC100V〜240V・50/60Hz）でお使いいただけます。
- 下図のように、付属のバッテリーチャージャーを差し込む変換プラグアダプター **[a]** が必要になる場合があります。

- 変換プラグアダプター **[a]** ／電源コンセント **[b]** の形状は旅行先の国や地域によって異なります。あらかじめ、旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となります。

電源を入れる／切る

➡ POWERボタンを押す

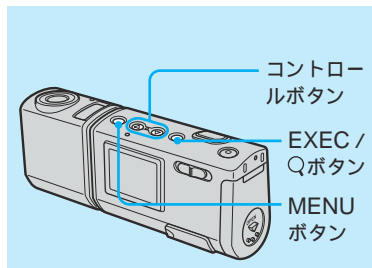
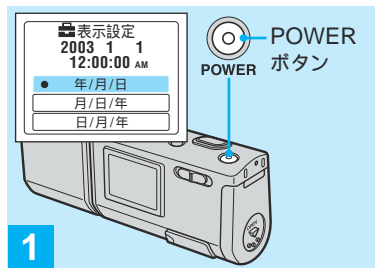
POWERランプが緑色に点灯し、電源が入ります。初めて電源を入れたときは、表示設定画面が表示されます（15ページ）。

電源を切る

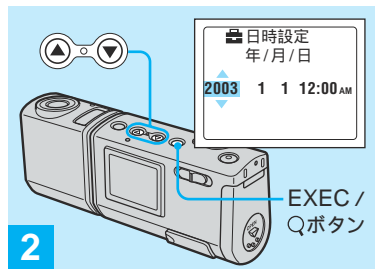
POWERボタンを再び押すと、POWERランプが消え、電源が切れます。

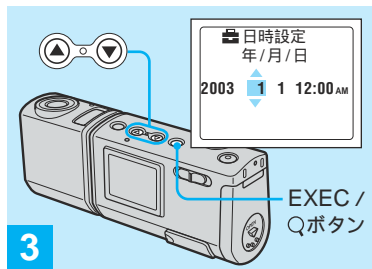
ボタン操作について

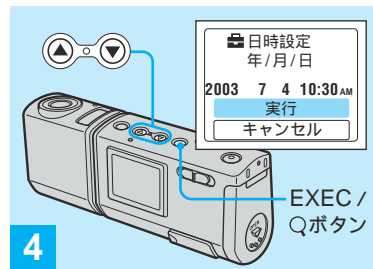
日付／時刻を合わせる

オートパワーオフ機能
本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、電池の消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。ただし、USBケーブルでパソコンと接続中はオートパワーオフ機能は働きません。

本機の設定を変えるときは、液晶画面にメニューを表示させ、コントロールボタンを使って操作します。
各項目を設定するときは、MENUボタンを押してメニューを表示し、コントロールボタンの▲/▼を押して項目や設定を選び、EXECボタンを押して決定します。MENUボタンを押すとメニューが消えます。

➡ POWERボタンを押して、電源を入れる

POWERランプが緑色に点灯し、表示設定画面が表示されます。

- 一度設定した日付、時刻を合わせ直すときは、MENUボタンを押し、[ ] の [時計設定]、[日時設定] を選んでから（97ページ）、手順3を行ってください。設定が終わったら、MENUボタンを押して時計設定画面を消してください。
- この操作はモードスイッチがどの位置でも操作できます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で年月日の表示順を選び、EXECボタンを押す

表示は、[年/月/日]、[月/日/年]、[日/月/年] の中から選びます。表示順が決定されると、日時設定画面が表示されます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で設定する数値を選び、EXECボタンを押す

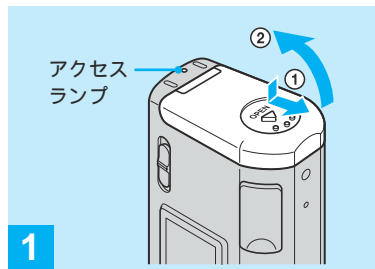
設定する項目の上下に▲/▼が表示されます。
数値が確定され、次の項目に移ります。手順**3**を繰り返して、すべての項目を設定してください。

➡ コントロールボタンの▲で［実行］を選び、EXECボタンを押す

日付／時刻が設定され、時計が動き始めます。

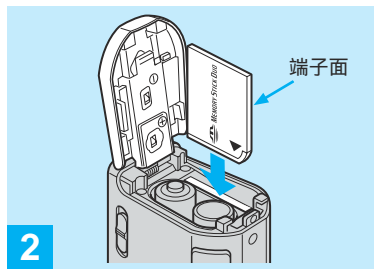
- 時計の設定を記憶しておくための充電式ボタン電池の残量が少なくなると（99ページ）、自動的に表示設定画面が表示されます。このときは手順**2**以降を行って日付、時刻を設定し直してください。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMと表示されます。
- 手順**2**で［日/月/年］を選んだときは、24時間表示で設定してください。

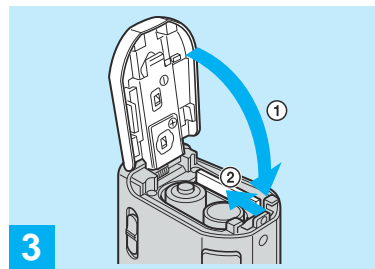
- 日付／時刻設定を間違えたときは、手順**4**で［キャンセル］を選ぶと表示設定画面が表示されます。もう一度手順**2**以降を行ってください。
- 中止するときは、［キャンセル］を選び、EXECボタンを押します。

"メモリースティック　デュオ"を入れる／取り出す

→ OPEN ボタンを押したまま、電池／"メモリースティック　デュオ"カバーを開ける

電池／"メモリースティック　デュオ"カバー側を上に向けてから、矢印の方向にスライドさせると上に開きます。

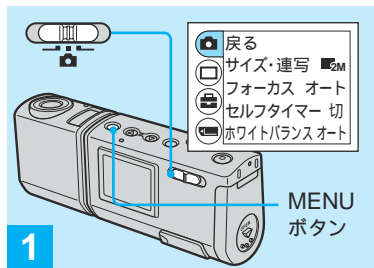
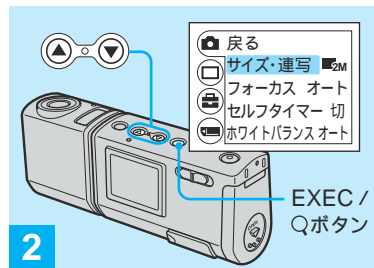
- **アクセスランプが点灯しているときは、画像の記録中、読み出し中です。このとき、絶対に電池／"メモリースティック　デュオ"カバーを開けたり、電源を切ったりしないでください。データが壊れることがあります。**
- "メモリースティック　デュオ"については100ページをご覧ください。

→"メモリースティック　デュオ"を入れる

"メモリースティック　デュオ"を図の向きで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

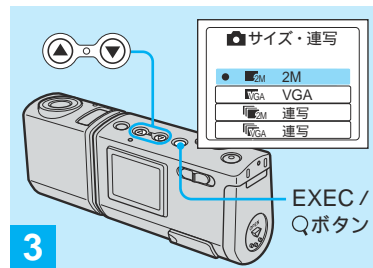
- "メモリースティック　デュオ"を入れるときは、挿入方向をご確認の上、奥まできちんと差し込んでください。正しく差し込まないと正常な記録、再生ができないことがあります。また、本機および"メモリースティック　デュオ"の破損の原因になることもあります。
- 電池／"メモリースティック　デュオ"カバーを開閉するときは電池が落下しないようにご注意ください。

→ 電池／"メモリースティック　デュオ"カバーを閉める

"メモリースティック　デュオ"を取り出すには

電池／"メモリースティック　デュオ"カバーを開け、"メモリースティック　デュオ"を1回押して取り出してください。

静止画の画像サイズを決める

➡ モードスイッチを「📷」にしてから電源を入れ、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

➡ コントロールボタンの▲で［📷］を選び、EXECボタンを押す。
コントロールボタンの▲/▼で［サイズ・連写］を選び、EXECボタンを押す

画像サイズが表示されます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で希望の画像サイズを選び、EXECボタンを押す

画像サイズが確定します。
MENUボタンを押してメニューを消すと、撮影画面に戻ります。

- 画像サイズについては、19ページをご覧ください。

- ここで選んだ画像サイズの設定は、電源を切ったあとも保持されます。

画像サイズについて

撮影目的に合わせて、画像のサイズ（画素数）を選ぶことができます。画像サイズを大きくすると画像はきれいになりますが、データ容量が大きくなり、" メモリースティック　デュオ " に記録できる枚数は少なくなります。目的に合った画像サイズをお選びください。

画像サイズは下記の2種類から選ぶことができます。
ここで挙げた例はそれぞれの用途に適した最小の画像サイズです。

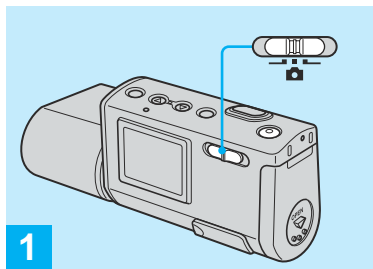
画像サイズ		用途例
2M	1632×1224	A5プリント
VGA	640×480	ホームページ作成

" メモリースティック　デュオ "1枚に記録できる枚数

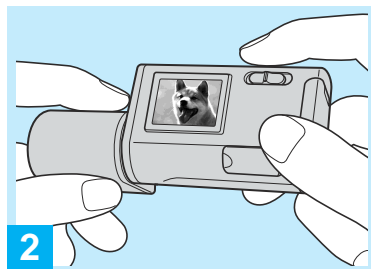
（単位：枚）

画像サイズ ＼ 容量	8MB	16MB	32MB	64MB	128MB	MSX-M256	MSX-M512
2M	14	29	60	122	245	445	906
VGA	80	161	326	656	1316	2380	4840

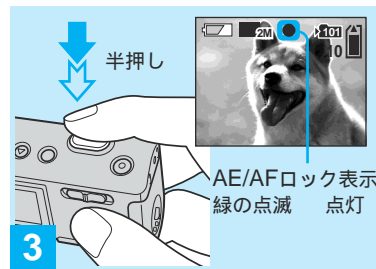
- 当社従来モデルで撮影された画像を再生したとき、実際の画像サイズと異なる表示となる場合があります。
- 本機の液晶画面で見るときはどの画像サイズでも同じ大きさに見えます。
- 記録枚数は、撮影状況によって数値と異なる場合があります。
- 撮影残枚数が9,999より多いときは>9999と表示されます。

簡単に撮る — オート撮影

➡ モードスイッチを「📷」にして、電源を入れる

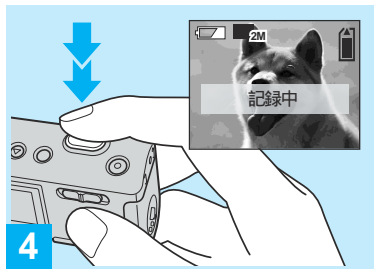
液晶画面に画像の記録フォルダの名前が約5秒間表示されます。

- お買い上げ時は、［フォーカス］が［オート］に設定されています。
- 露出は自動で調整されます。
- 本機では、“ メモリースティック　デュオ ”に記録するフォルダを新しく作成したり、選択することができます（25ページ）。

➡ 両手でカメラを構え、被写体を画面中央部におさめる

レンズやフラッシュ発光部に指がかからないようにしてください。

- 晴天の屋外など、強い光の下で撮影すると画面に不要な光（ゴースト）が入ることがあります。このようなときは、手をレンズの上方にかざすなどして光をさえぎって撮影してください。
- 露出、ピントは画面中央部に合います。

➡ シャッターボタンを半押しする

「ピピッ」と音がします。液晶画面内のAE/AFロック表示が点滅から点灯に変わると、撮影可能です。

- シャッターボタンを離せば、いつでも撮影を中止できます。
- 「ピピッ」と音がしないときは、AFロックが失敗しています。このまま撮影することもできますがピントは合っていません。
- 本機は、オートマクロAF機能を採用しております。ピント合わせに必要な被写体までの最短距離は、10 cmです。

➡ 半押しのまま、シャッターボタンをさらに押し込む

「ピピッ」と音がします。「記録中」の表示が消えると撮影が完了します。静止画が“ メモリースティック　デュオ ”に記録され、次の撮影ができます。

- 撮影中、本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、電池の消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます（15ページ）。

ピント合わせについて

ピントを合わせにくい被写体を撮影しようとしたときは、点滅していたAE/AFロック表示が遅い点滅に変わります。
自動ピント合わせ（AF=オートフォーカス）の場合は、下記の条件でピントが合いにくいことがあります。構図を変えるなどしてもう一度ピントを合わせてみてください。それでもピントが合わないときはフォーカスプリセット（30ページ）をお使いください。

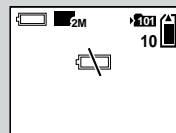
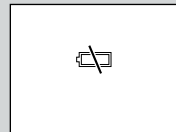
- 被写体が遠くて暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体

LCDライトについて

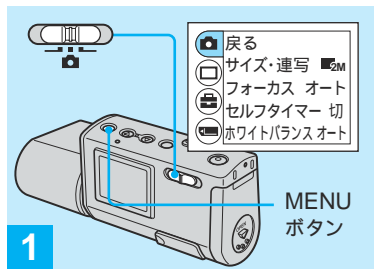
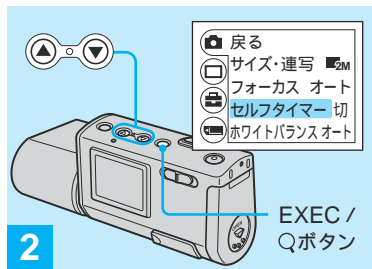
MENUボタンとコントロールボタンの▲/▼で［▭］の［LCDライト］を選び、つけたり消したりできます。電池の消耗をおさえたいときに便利です。
アルカリ電池使用時は、LCDライト［切］にすることをおすすめします。

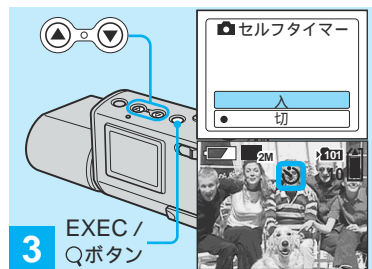
- 本機の液晶画面はハイブリッドLCDを採用しており、LCDライトを［切］にしていても、周囲の明るさがあれば、液晶画面で画像を見ることができます。
- メニュー操作時は、［LCDライト］を［切］に設定しても、LCDライトは点灯します。操作が終わると消灯します。

画面上の表示について

MENUボタンとコントロールボタンの▲/▼で［▭］の［画面表示］を選び、出したり消したりできます。
液晶画面で画像を確認しづらいときの撮影に便利です。

［画面表示］が［入］
表示可能なアイコンをすべて表示。

［画面表示］が［切］
警告表示などを表示。

- 表示項目について詳しくは、106ページをご覧ください。
- 画面上の表示は記録されません。

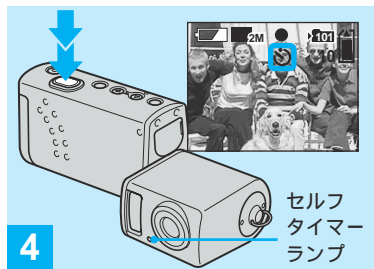
セルフタイマーで撮る

➡ モードスイッチを「📷」にして、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

➡ コントロールボタンの▲で［📷］を選び、EXECボタンを押す。
コントロールボタンの▲/▼で［セルフタイマー］を選び、EXECボタンを押す

➡ コントロールボタンの▲で［入］を選び、EXECボタンを押す

MENUボタンを押してメニューを消すと、液晶画面に⏲（セルフタイマー）が表示されます。

- モードスイッチを「🎞」の位置にしても操作できます。

- モードスイッチが「🎞」のときは、コントロールボタンで［🎞］を選んでください。

4

セルフタイマーランプ

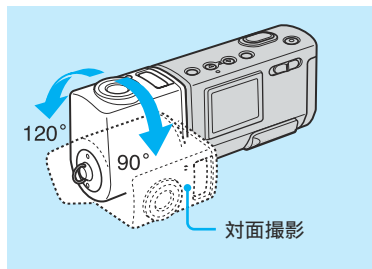
➡ 被写体を画面中央部におさめ、シャッターボタンを深く押し込む

セルフタイマーランプが赤色に点滅し、「ピッピッピ」とビープ音が鳴ります。約10秒後に撮影されます。

セルフタイマーを途中で止めるには

POWERボタンを押して電源を切ってください。

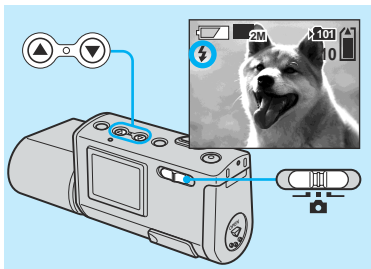
- カメラの前に立ってシャッターボタンを押すと、ピントや明るさが正しく設定されないことがあります。

レンズ部を回転させて撮る

➡ レンズ部の角度を調節する

レンズ部は、前面に120度まで回転できます。また、対面撮影のときにはレンズ部を背面に90度まで回転できます。
対面撮影のときは液晶画面に映る画像は鏡のように映りますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

液晶画面に映る画像

記録される画像

- 対面撮影した画像をパソコンで見るとき、お使いのソフトウェアによっては画像が180度回転して表示される場合があります（88ページ）。

フラッシュモードを選ぶ

➡ モードスイッチを「📷」にして、コントロールボタンの▲（⚡）を繰り返し押し、フラッシュモードを選ぶ

フラッシュモードは下記のとおりです。

表示なし（オート）：撮影状況の光量が足りないと判断した場合、自動的に発光します。

◉（赤目軽減）：フラッシュモードはオートで、発光する場合に赤目軽減機能が働きます。

⚡（強制発光）：周囲の明るさに関係なく発光します。

⊘（発光禁止）：発光しません。

ボタンを押すたびに、下記のように表示が変わります。

表示なし（オート）→ ◉（赤目軽減）→ ⚡（強制発光）→ ⊘（発光禁止）→ 表示なし（オート）→ …

- 連写のときは、フラッシュモードは使えません。
- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- フラッシュ推奨撮影距離は約0.5～1.8 mです。◉（赤目軽減）のときのフラッシュ推奨撮影距離は約0.5～1.5 mです。
- フラッシュモードがオート、◉（赤目軽減）または⚡（強制発光）のとき、暗い場所で液晶画面を見ると画像にノイズが目立つ場合がありますが、撮影される画像には影響ありません。
- ⊘（発光禁止）のとき、暗い場所ではシャッタースピードが遅くなるので手ぶれにご注意ください。
- フラッシュを充電している間は、⚡（フラッシュチャージ）ランプが点滅します。充電が完了すると消灯します。
- ここで選んだ設定は、電源を切ったあとも保持されます。

赤目軽減

撮影前にフラッシュが予備発光し、目が赤く写るのを軽減します。

⬇

- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。

フォルダを作成／選択する

本機は“メモリースティック　デュオ”の中に複数のフォルダを作成することができます。また、入れたいフォルダを選択して記録できます。
新しくフォルダを作成していない場合は、「101MSDCF」フォルダが記録フォルダとして設定されます。フォルダは最高で「999MSDCF」まで作成することができます。

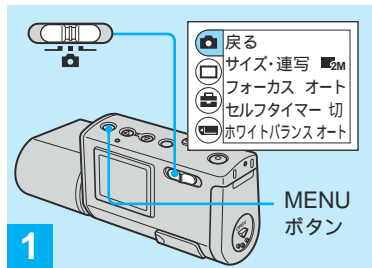
新しいフォルダを作る

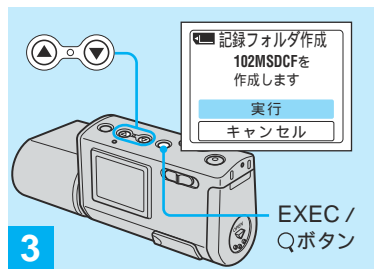
➡ モードスイッチを「📷」にしてから電源を入れ、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

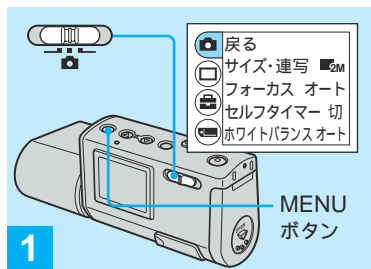
➡ コントロールボタンの▼で[▭]を選び、EXECボタンを押す。
コントロールボタンの▲/▼で[記録フォルダ作成]を選び、EXECボタンを押す

記録フォルダ作成画面が表示されます。

- 1つのフォルダに記録できるのは最大4,000枚です。フォルダ容量を越えると、自動的に新しいフォルダが作成されます。

- モードスイッチを「🎞」の位置にしても操作できます。
- 新しく作成するフォルダの番号を指定することはできません。

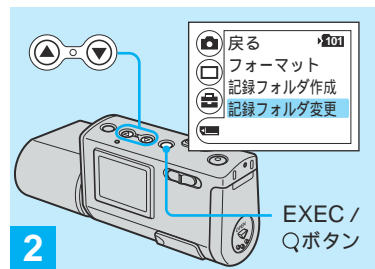
- 一度作成したフォルダを本機では削除することはできません。
- 撮影する画像は、違うフォルダを選択するか、さらに新しくフォルダを作成するまで、そのフォルダに記録されます。

➡ **コントロールボタンの▲で［実行］を選び、EXECボタンを押す**

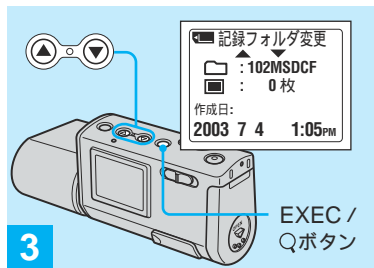
既存最大番号＋1のフォルダが作成されます。次に撮影する画像は新しく作成したフォルダに記録されます。
MENUボタンを押してメニューを消すと、作成された記録フォルダが表示されます。

フォルダ作成を中止するには
手順3で［キャンセル］を選びます。

記録フォルダを選択する

➡ **モードスイッチを「📷」にして、MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

- モードスイッチを「🎞」の位置にしても操作できます。

➡ **コントロールボタンの▼で［▭］を選び、EXECボタンを押す。**
コントロールボタンの▼で［記録フォルダ変更］を選び、EXECボタンを押す

記録フォルダ変更画面が表示されます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で希望のフォルダを選び、EXECボタンを押す

➡ コントロールボタンの▲で［実行］を選び、EXECボタンを押す

MENUボタンを押してメニューを消すと、選択された記録フォルダが表示されます。

記録フォルダの変更を中止するには

手順**4**で［キャンセル］を選びます。

- 「100MSDCF」フォルダは記録フォルダとして選ぶことはできません。
- 画像は選択した記録フォルダに記録されます。本機では記録した画像を別のフォルダに移動することはできません。

場面に合わせて撮る — シーンセレクション

ポートレート、風景、夜景、夜景と人物や、動きのある被写体を撮影するときは、下記のモードを使用して効果を高めることもできます。

ソフトスナップモード

人物の肌の色を、明るく暖かい色調で、きれいに撮影できます。また、ソフトフォーカス効果がありますので、人物や花などを撮影した画像を優しい雰囲気に仕上げることができます。

イルミネーションスナップモード

夜間のスナップ撮影時に、人物などメインとなる被写体と、背景の夜景を同時に美しく撮影できます。また、クロスフィルター効果により、街灯などの明かりが十字の形に強調されます。

- シャッタースピードが遅くなるので手ぶれにご注意ください。
- フラッシュは強制発光で、赤目軽減機能が働きます。
- フォーカスが［オート］に設定されているとき、ピントは約1 m〜∞（無限遠）に合うように調整されます。1 mより近い被写体を撮影するときはフォーカスプリセット（30ページ）をご使用ください。

夜景モード

暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影することができます。

- シャッタースピードが遅くなるので手ぶれにご注意ください。
- フォーカス設定は［▲ ∞］（無限遠）になります。
- フラッシュは発光禁止になります。
- フォーカスが［オート］に設定されているとき、ピントは遠景に合うように調整されます。

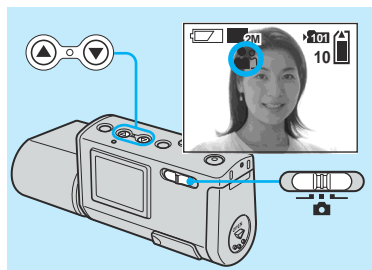
ビビッドネイチャーモード

空や海、山などの青色と緑色が強調され、鮮やかで印象的な自然の風景写真が撮影できます。

- フォーカス設定は［ ∞］（無限遠）になります。
- フラッシュは発光禁止になります。
- フォーカスが［オート］に設定されているとき、ピントは遠景に合うように調整されます。

アクティブアウトドアモード

晴れた屋外で、速い動きのある被写体の動きを止めて、生き生きとした画像を撮影することができます。

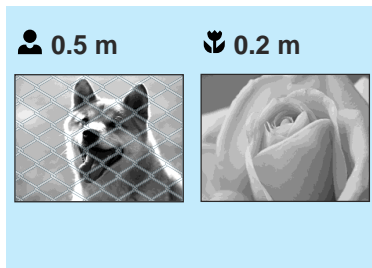
- フォーカスが［オート］に設定されているとき、ピントは約1 m～∞（無限遠）に合うように調整されます。

➡ モードスイッチを「」にしてから電源を入れる。コントロールボタンの▼（SCENE）を繰り返し押し、希望のモードを選ぶ

▼（SCENE）を押すたびに、下記のように表示が変わります。
（ソフトスナップ）→ （イルミネーションスナップ）→ （夜景）→ （ビビッドネイチャー）→ （アクティブアウトドア）→ 表示なし（オート）→ …

シーンセレクションを解除するには

コントロールボタンの▼（SCENE）を繰り返し押して、表示なし（オート）に設定してください。

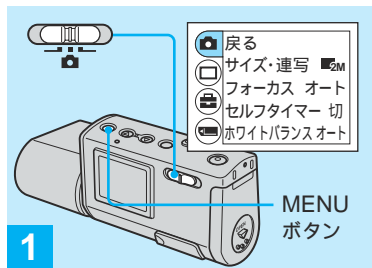
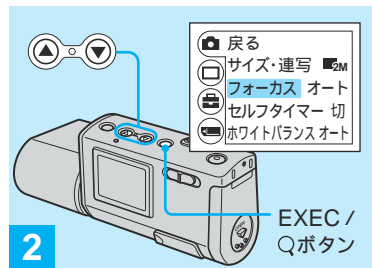
- メニューが表示されているときは、最初にMENUボタンを押してメニューを消してください。
- 動画撮影時、シーンセレクションは使えません。
- ここで選んだ設定は、電源を切ったあとはオートに戻ります。

被写体までの距離を設定する ― フォーカスプリセット

被写体との距離に応じて撮影距離をあらかじめ設定して撮影するときや、網や窓ガラス越しの被写体の撮影など、オートフォーカスが効きにくいときにフォーカスプリセットを使うと便利です。

➡ モードスイッチを「📷」にしてから電源を入れ、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

- モードスイッチを「🎞」の位置にしても操作できます。

2

EXEC／
ボタン

➡ コントロールボタンの▲で［📷］を選び、EXECボタンを押す。
コントロールボタンの▲/▼で［フォーカス］を選び、EXECボタンを押す

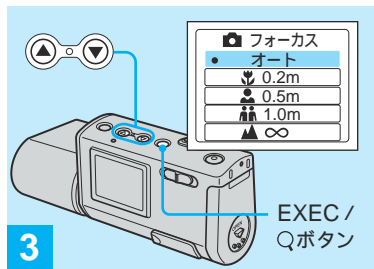
- モードスイッチが「🎞」のときは、コントロールボタンで［🎞］を選んでください。
- フォーカス距離の設定は多少の誤差を含んでいます。目安としてお使いください。

連写で画像を撮る

➡ **モードスイッチを「📷」にしてから電源を入れ、MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

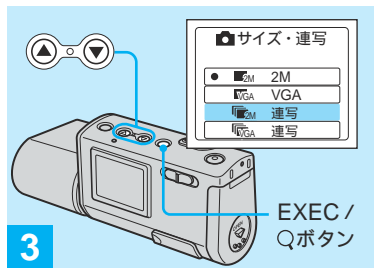
- フラッシュは使えません。
- 撮影の間隔は約0.5秒です。ただし、暗い場所では撮影の間隔が長くなる場合があります。

➡ **コントロールボタンの▲で［📷］を選び、EXECボタンを押す。コントロールボタンの▲/▼で［サイズ・連写］を選び、EXECボタンを押す**

➡ **コントロールボタンの▲/▼で被写体までの距離を選び、EXECボタンを押す**

被写体までの距離は次の中から選べます。
オート（表示なし）、🌷0.2m、
👤0.5m、👥1.0m、⛰ ∞（無限遠）
MENUボタンを押してメニューを消すと、液晶画面にアイコンが表示されます。

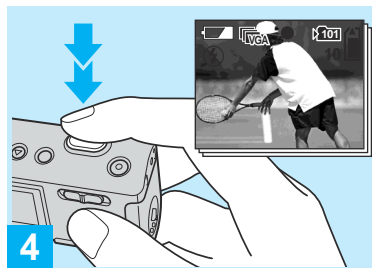
オートフォーカスに戻すには
手順**3**で［オート］を選びます。

- ここで選んだ設定は、電源を切ったあとは［オート］に戻ります。

3

➡ コントロールボタンの▲/▼で［2M連写］または［VGA連写］を選び、EXECボタンを押す

連写の画像サイズが確定します。
MENUボタンを押してメニューを消すと、撮影画面に戻ります。

- 画像サイズについては、19ページをご覧ください。

4

➡ 半押ししてから、さらに深くシャッターボタンを押したままにする

シャッターボタンを押したままにすると2Mでは最大2枚、VGAでは最大10枚の画像が撮影されます。

- 途中でシャッターボタンをはなすと、撮影はそこで止まります。
押したままにしていた時間内に撮影された枚数が記録されます。

色合いを調節する — ホワイトバランス

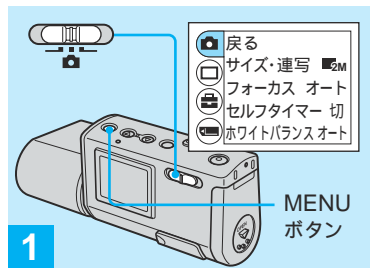
ホワイトバランスがオートに設定されているときは、撮影状況に応じてホワイトバランスが自動的に設定され、全体の色のバランスが調整されます。撮影条件を固定したいときや特定の照明状態で撮影するときは、マニュアルで設定することができます。

表示なし（オート）
ホワイトバランスを自動調節する。

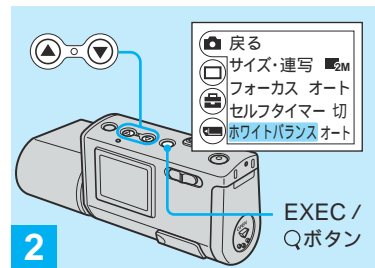
（太陽光）
戸外で撮るときや夜景やネオン、花火や日の出、日没前後などを撮る場合

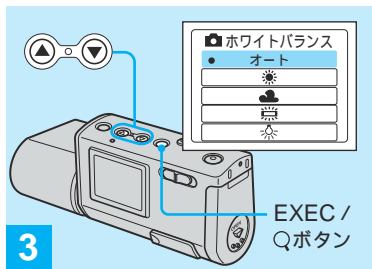
（曇天）
くもり空のときに撮影する場合

（蛍光灯）
蛍光灯の下で撮影する場合

（電球）
- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下

➡ **モードスイッチを「」にしてから電源を入れ、MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

- モードスイッチを「」の位置にしても操作できます。

➡ **コントロールボタンの▲で［］を選び、EXECボタンを押す。コントロールボタンの▼で［ホワイトバランス］を選び、EXECボタンを押す**

- モードスイッチが「」のときは、コントロールボタンで［］を選んでください。
- ちらつきのある蛍光灯下では、（蛍光灯）を選んでもホワイトバランスが合わないことがあります。

➡ コントロールボタンの▲/▼で希望のモードを選び、EXECボタンを押す

MENUボタンを押してメニューを消すと、液晶画面に設定したモードが表示されます。

自動調節に戻すには

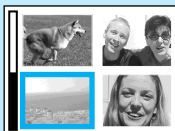
手順3で［オート］を選びます。

- フラッシュ発光時にはホワイトバランスのマニュアルの設定が解除され、オートモードで撮影されます。
- ここで選んだ設定は、電源を切ったあとも保持されます。

撮影のテクニック

被写体の見た目の色は、光の状況に影響されます。夏の太陽のような光の下ではすべてのものが青っぽく見え、電球のような光源の下では白いものが赤っぽく見えます。人間の目にはすぐれた調節機能があり、光が変わってもすぐに正しい色を認識できます。しかし、デジタルスチルカメラは光の影響を大きく受けます。
通常、本機は調節を自動で行っていますが、撮影画像を再生してみて画面全体が不自然な色合いのときはホワイトバランスの設定をすることをおすすめします。

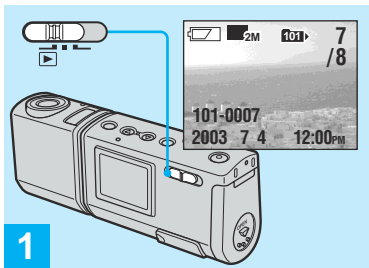
液晶画面で静止画を見る

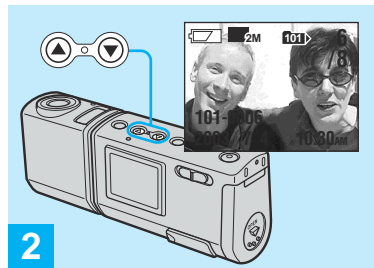
1枚表示画面　4枚表示画面

撮影した画像を本機の液晶画面ですぐに見ることができます。表示方法は下記の2種類から選ぶことができます。

1枚表示画面
1枚の画像を画面いっぱいで見ることができます。

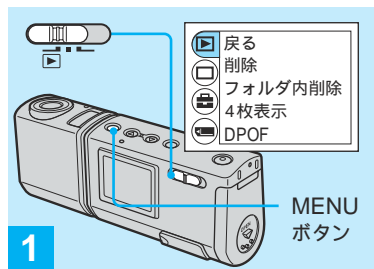
4枚表示画面
4枚の画像を同時に見ることができます。

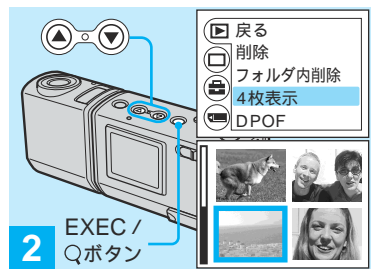
- 画像に表示される項目については、108ページをご覧ください。
- 動画の再生については、49ページをご覧ください。

1枚表示画面で見る

➡ **モードスイッチを「▶」にして、電源を入れる**

選択されている記録フォルダ（26ページ）の最新の画像が表示されます。

➡ **コントロールボタンの▲/▼で静止画を選ぶ**

▲：前の画像が表示されます。
▼：次の画像が表示されます。

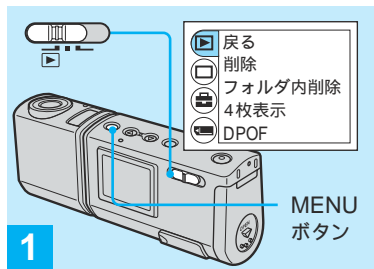
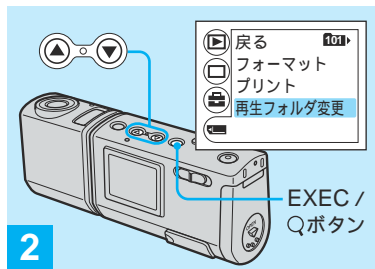
4枚表示画面で見る

➡ モードスイッチを「▶」にして、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

➡ コントロールボタンの▲で［▶］を選び、EXECボタンを押す。コントロールボタンの▲/▼で［4枚表示］を選び、EXECボタンを押す

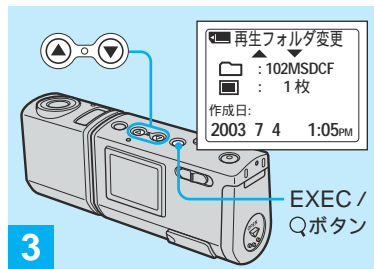
4枚表示画面に切り換わります。

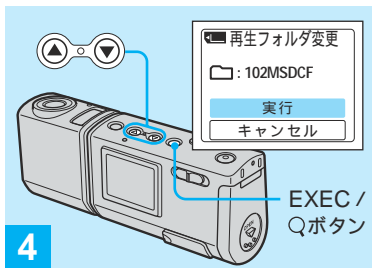
次（前）の4枚表示画面を表示するには
コントロールボタンの▲/▼で、黄色い枠を動かしてください。

1枚表示画面に戻るには
手順2で［1枚表示］を選びます。または4枚表示のとき、EXECボタンを押すと黄色い枠のついている画像が1枚表示されます。

フォルダを選択して再生する ― フォルダ

➡ モードスイッチを「▶」にしてから電源を入れ、MENUボタンを押す

メニューが表示されます。

➡ コントロールボタンの▼で［▭］を選び、EXECボタンを押す。
コントロールボタンの▼で［再生フォルダ変更］を選び、EXECボタンを押す

再生フォルダ変更画面が表示されます。

➡ コントロールボタンの▲/▼で再生したいフォルダを選び、EXECボタンを押す

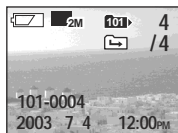
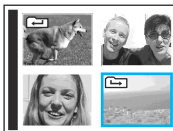
静止画を見て楽しむ

➡ コントロールボタンの▲で［実行］を選び、EXECボタンを押す

MENUボタンを押してメニューを消すと、選択された再生フォルダが表示されます。

再生フォルダの選択を中止するには
手順4で［キャンセル］を選びます。

“メモリースティック　デュオ”に複数のフォルダがあるときは
フォルダ内の最初／最後の画像に下記のマークが表示されます。

: 前のフォルダに移動できます。
: 次のフォルダに移動できます。
: 前のフォルダにも、次のフォルダにも移動できます。

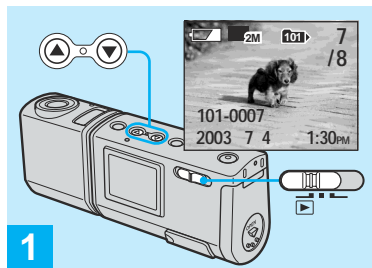
1枚表示画面のとき

4枚表示画面のとき

- 再生フォルダ内に画像がないときは、「このフォルダにはファイルがありません」と表示されます。
- 再生フォルダを選択しなくても最後に撮影した画像から再生できます。

画像を拡大する — 拡大再生

撮影した画像を元の画像の2.5倍または5倍に拡大して見ることができます。

1倍（通常）

2.5倍

5倍

➡ **モードスイッチを「▶」にしてから電源を入れる。**
コントロールボタンの▲/▼で拡大したい画像を表示する

➡ **EXEC／Q（拡大再生）ボタンを繰り返し押し、希望の倍率を選ぶ**

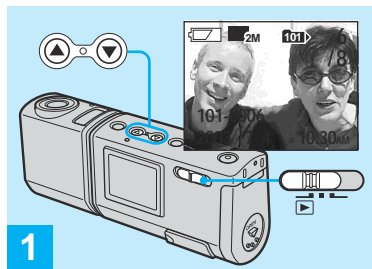
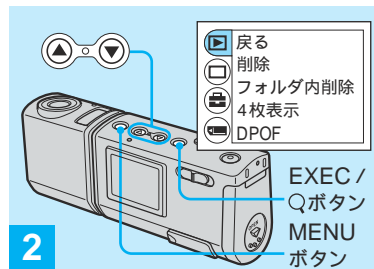
画面中央部が拡大されます。
EXEC／Q（拡大再生）ボタンを押すたびに、下記のように倍率が変わります。
2.5倍 → 5倍 → 通常（表示なし）
→ ···

拡大再生を解除するには
EXEC／Q（拡大再生）ボタンを繰り返し押して、通常（表示なし）に戻してください。

- 動画は拡大再生できません。
- 他機で撮影した画像は、拡大できない場合があります。
- 拡大した画像を新しいファイルとして記録することはできません。

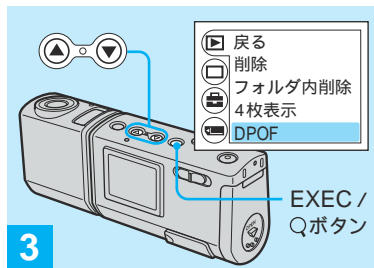
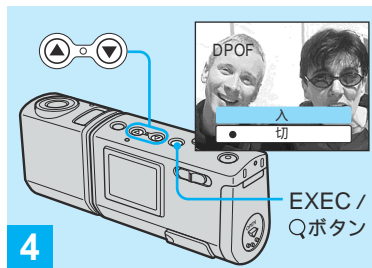
- 画面中央部以外は拡大再生できません。

プリント予約をする ― プリント予約マーク

プリントしたい画像をあらかじめ本機で予約することができます。DPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しているお店やプリンターで画像をプリントするときなどに便利な機能です。

➡ **モードスイッチを「▶」にしてから電源を入れる。**
コントロールボタンの▲/▼でプリント予約したい画像を表示する

➡ **MENUボタンを押し、コントロールボタンの▲で［▶］を選び、EXECボタンを押す**

4枚表示画面でプリント予約マークを付けるには

36ページの手順2を行い、4枚表示画面に切り換えてください。

- 動画にはプリント予約マークは付けられません。
- プリント枚数の指定はできません。

➡ **コントロールボタンの▼で［DPOF］を選び、EXECボタンを押す**

➡ **コントロールボタンの▲で［入］を選び、EXECボタンを押す**

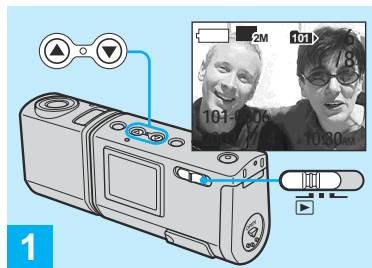
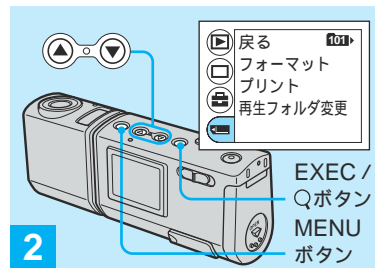
MENUボタンを押してメニューを消すと、表示されている画像に（プリント予約）マークが付きます。

プリント予約マークを消すには

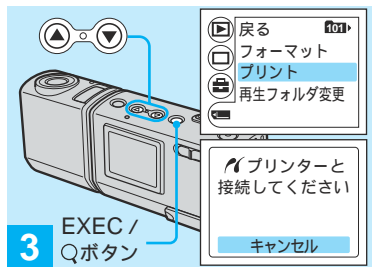
手順4で［切］を選びます。マークが消えます。

静止画を見て楽しむ

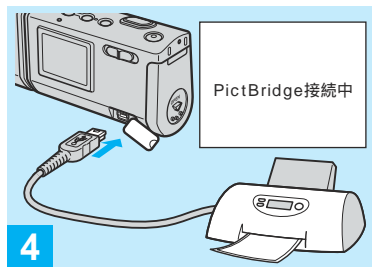
PictBridge規格対応のプリンターと接続する

パソコンをお持ちでない方でもPictBridge規格対応のプリンターを使えば、本機で撮影した画像を簡単にプリントすることができます。本機のメニューで接続の設定をして、USBケーブルで本機とプリンターをつなぐだけです。

➡ モードスイッチを「▶」にしてから電源を入れる。
コントロールボタンの▲/▼でプリントしたい画像を表示する

この時点では、本機をプリンターに接続しないでください。

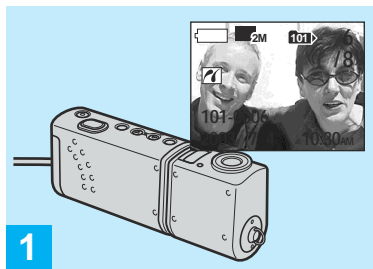
➡ MENUボタンを押し、コントロールボタンの▼で［▭］を選び、EXECボタンを押す

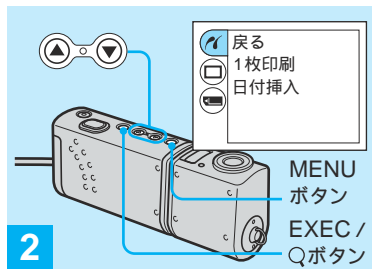
- 下記のような接続は行わないでください。接続した場合の本機の動作は保証しません。
  —PictBridge規格に対応していないプリンターとの接続
  —本機に電池を入れない、または電池残量が充分でない状態での接続

➡ コントロールボタンの▲/▼で［プリント］を選び、EXECボタンを押す

「プリンターと接続してください」の表示が出ます。

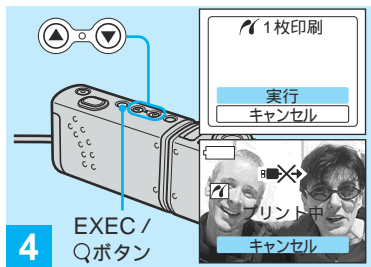
接続の準備を中止するには
手順3で［キャンセル］を選びます。

➡ 本機とプリンターを接続する

「PictBridge接続中」の表示が出ます。接続が完了すると選択した画像が表示され、画面に（PictBridge）マークが出ます。

画像をプリントする

➡ 42〜43ページの手順1〜4を行い、本機とプリンターを接続する

➡ MENUボタンを押し、コントロールボタンの▲で［ ］を選び、EXECボタンを押す

➡ コントロールボタンの▲/▼で［1枚印刷］を選び、EXECボタンを押す

接続が完了すると、画面に （PictBridge）マークが表示されます。

- 画面に警告表示が表示されたときは、93ページで意味を確認してからEXECボタンで［終了］を選んでください。
- メニューの［ ］で［LCDライト］を［切］にすると、電池の消耗をおさえることができます。

➡ コントロールボタンの▲で［実行］を選び、EXECボタンを押す

「プリント中」という表示が消えると、印刷が完了します。
続けて同じ画像を印刷するときには、もう一度手順2から行ってください。

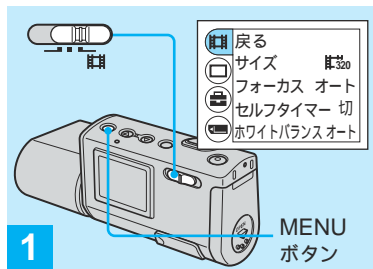
- マークが表示されているときは、USBケーブルを抜いたり、“ メモリースティック　デュオ ”や電池を取り出したりしないでください。

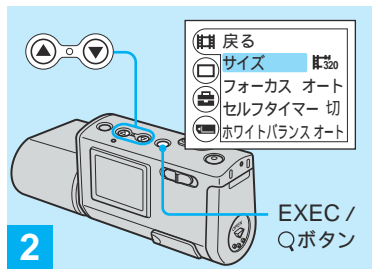
プリントを中止するには
手順4で［キャンセル］を選びます。

他の画像もプリントするには
手順1でコントロールボタンの▲/▼を押して、プリントしたい画像を選びます。再生フォルダを変更するには、メニューの［ ］で［再生フォルダ変更］を選び、プリントしたい画像の入っているフォルダを選んでください。

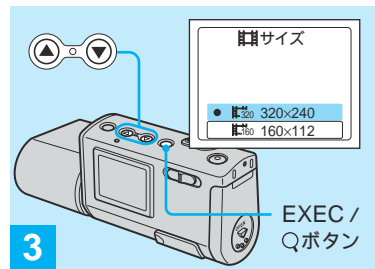
画像に日付を挿入するには
手順3で［日付挿入］を選び、コントロールボタンの▲/▼で日付表示の種類を選びます。［日/時/分］、［年/月/日］*から選ぶことができます。プリントする画像に日付が挿入されます。
お使いになるプリンターによっては対応していない場合があります。

* ［時計設定］の［表示設定］（15ページ）で選択されている表示設定が表示されます。

接続を終了するには
「プリント中」という表示が消えているのを確認してから、USBケーブルを抜いてください。本機の電源が切れ、接続が終了します。

動画を撮る

➡ **モードスイッチを「」にしてから電源を入れ、MENUボタンを押す**

メニューが表示されます。

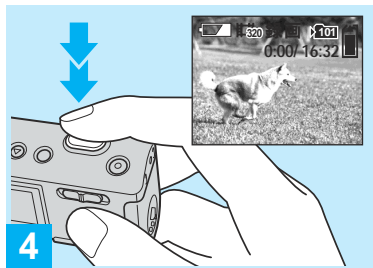
➡ **コントロールボタンの▲で[ ]を選び、EXECボタンを押す。**
コントロールボタンの▲/▼で[サイズ]を選び、EXECボタンを押す

画像サイズが表示されます。

➡ **コントロールボタンの▲/▼で[320 320×240]または[160 160×112]を選び、EXECボタンを押す**

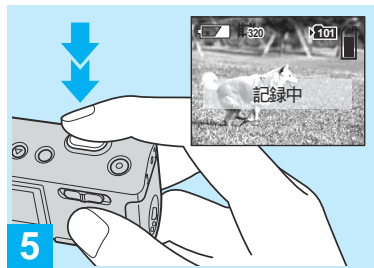
画像サイズが確定します。
MENUボタンを押してメニューを消すと、撮影画面に戻ります。

- 動画に音声は録音されません。
- 動画を撮影するとき画像がコマ送りのように見えますが、記録される画像には影響ありません。

- 各サイズによる記録時間については、48ページをご覧ください。

- ここで選んだ画像サイズの設定は、電源を切ったあとも保持されます。

➡ シャッターボタンを深く押し込む

「録画」と表示され、画像の記録が始まります。

- “メモリースティック　デュオ”の容量がいっぱいになると停止します。
- フォーカス設定がオートの場合、約1mから∞（無限遠）までにピントを合わせた状態になります。これより近くの被写体を撮影するときは、フォーカスプリセットで🌷0.2m、👤0.5mに設定してお使いください（30ページ）。
- フラッシュは使えません。

➡ 録画を止めるには、シャッターボタンをもう一度深く押し込む

撮影中の画面上の表示は

画像には記録されません。MENUボタンとコントロールボタンの▲/▼で［□］の［画面表示］を選び、画面表示を出したり消したりできます（21ページ）。

表示項目について詳しくは、107ページをご覧ください。

セルフタイマーで撮影する

手順**3**を行ってから、22ページの手順に従ってください。

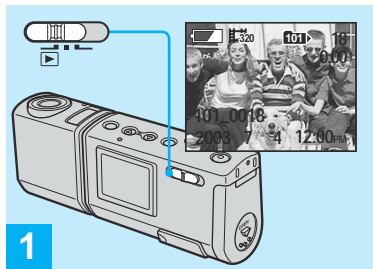
動画を撮る／見る

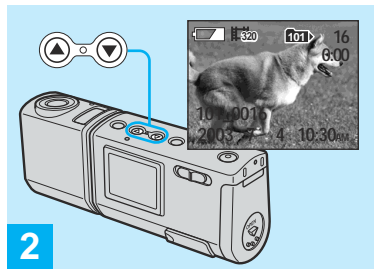
記録時間について

“ メモリースティック　デュオ ”の容量、画像サイズによって記録時間は異なります。
右の表を参考に用途に応じて“ メモリースティック　デュオ ”をお選びください。

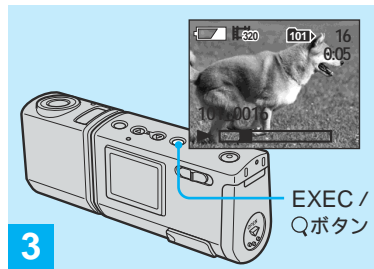
容量＼画像サイズ	160×112	320×240
8MB	5分35秒	1分26秒
16MB	11分13秒	2分54秒
32MB	22分43秒	5分52秒
64MB	45分40秒	11分48秒
128MB	1時間31分34秒	23分39秒
MSX-M256	2時間45分35秒	42分47秒
MSX-M512	5時間36分43秒	1時間27分1秒

- 記録時間は撮影状況によっては数値と異なる場合があります。
- 静止画撮影時の記録枚数については19ページをご覧ください。
- 記録時間が99分59秒を超える場合は「>99：59」と表示されます。

液晶画面で動画を見る

➡ **モードスイッチを「▶」にして、電源を入れる**

選択されている記録フォルダ（26ページ）の最新の画像が表示されます。

➡ **コントロールボタンの▲/▼で見たい動画を選ぶ**

▲：前の画像が表示されます。
▼：次の画像が表示されます。
画像サイズ［320 320×240］で撮影した動画は画面いっぱいに、
［160 160×112］で撮影した動画はひとまわり小さく表示されます。

- 本機では、再生する動画を早送りや巻戻しすることはできません。

➡ **EXECボタンを押す**

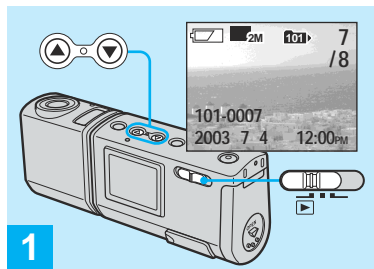
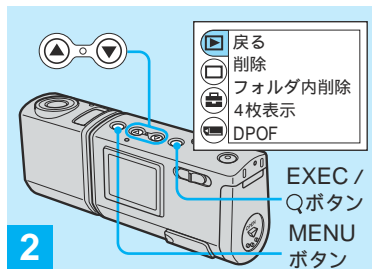
動画が再生されます。

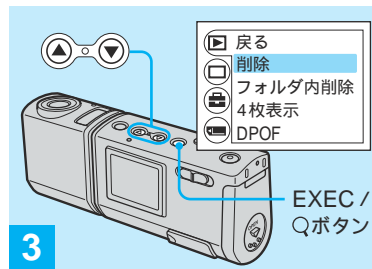
再生を止めるには

EXECボタンを押します。

動画再生中の画面上の表示は

画像には記録されていません。MENUボタンとコントロールボタンの▲/▼で［▭］の［画面表示］を選び、画面表示を出したり消したりできます（21ページ）。
表示される項目について詳しくは、108ページをご覧ください。

静止画／動画を削除する

→ モードスイッチを「▶」にして、電源を入れる。
コントロールボタンの▲/▼で削除したい画像を表示する

→ MENUボタンを押し、コントロールボタンの▲で［▶］を選び、EXECボタンを押す

4枚表示画面で削除をするには
36ページの手順**2**を行い、4枚表示に切り換えてください。

→ コントロールボタンの▲/▼で［削除］を選び、EXECボタンを押す

この時点ではまだ削除されていません。

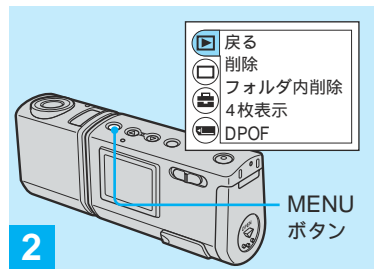
フォルダ内のすべての画像を削除するには
手順**3**で［フォルダ内削除］を選びます。

- 他機でプロテクト（誤消去防止機能）をかけた画像は削除できません。

“メモリースティック　デュオ”をフォーマットする

➡ **フォーマットしたい“メモリースティック　デュオ”を入れる**

フォーマット中は電池／“メモリースティック　デュオ”カバーを開けないでください。“メモリースティック　デュオ”が壊れることがあります。

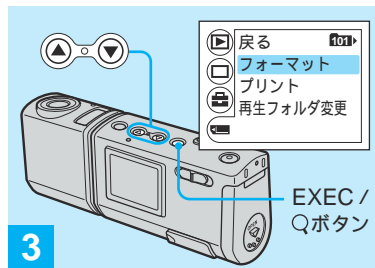
- 「フォーマット」とは、“メモリースティック　デュオ”に画像を記録できるようにする作業のことで、「初期化」とも言います。本機に付属、または市販の“メモリースティック　デュオ”はすでにフォーマットされており、すぐにお使いになれます。
- フォーマットはモードスイッチがどの位置でも操作できます。

➡ **電源を入れ、MENUボタンを押す**

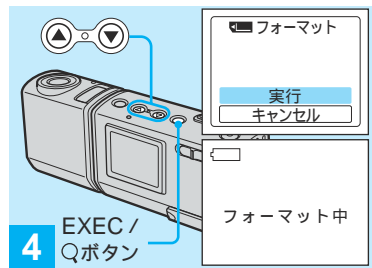
メニューが表示されます。

- **フォーマットすると、他機でプロテクト（誤消去防止機能）をかけた画像を含め、“メモリースティック　デュオ”内のすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。**
- フォーマットする際は、電池の残量が充分ある状態で行ってください。電池が途中で切れるとフォーマットエラーになることがあります。

➡ **コントロールボタンの▲で［実行］を選び、EXECボタンを押す**

「アクセス中」という表示が消えると、画像が削除されます。

削除を中止するには

手順4で［キャンセル］を選びます。

➡ **コントロールボタンの▼で［ ］を選び、EXECボタンを押す。**
コントロールボタンの▲/▼で［フォーマット］を選び、EXECボタンを押す

➡ **コントロールボタンの▲で［実行］を選び、EXECボタンを押す**

「フォーマット中」という表示が消えると、フォーマットが完了します。

フォーマットを中止するには
手順4で［キャンセル］を選びます。

画像をパソコンに取り込むまで

Windows XPは手順❷から始めます

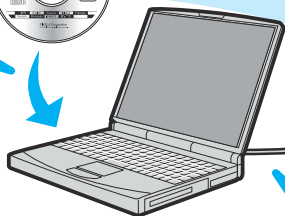
❶ Windows 98/98SE/2000/Meのみ

USBドライバをインストールする（55ページ）

2回目以降、画像を取り込むときは不要です。

❷ 本機とパソコンを準備する（58ページ）

パソコンとの接続方法や最新サポート情報はデジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。

Digital Imaging Customer Support http://www.sony.co.jp/support-di/

❸ USBケーブルで接続する（59ページ）

❹ 画像ファイルをパソコンにコピーする（60ページ）

❺ パソコンで画像を見る（66ページ）

- Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1/9.2、Mac OS X（v10.0/v10.1/v10.2）は69～70ページをご覧ください。

パソコンの推奨使用環境

■ Windowsパソコン環境

OS: Microsoft Windows 98/
Windows 98SE/
Windows 2000 Professional/
Windows Millennium Edition/
Windows XP Home Edition/
Windows XP Professional

工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は動作保証いたしません。

CPU: MMX Pentium 200 MHz以上

USB端子: 標準装備であること

ディスプレイ：800×600ドット以上
High Color（16 bitカラー、65,000色）以上

■ Macintosh環境

OS: Mac OS 8.5.1/8.6/9.0/9.1/9.2、Mac OS X (v10.0/v10.1/v10.2)
工場出荷時にインストールされていることが必要です。
ただし、次のモデルの場合はMac OS 9.0/9.1/9.2にアップデートしてご使用ください。

– Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされていて、CD-ROMドライブがスロットローディングのiMac
– Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされているiBook、Power Mac G4

USB端子: 標準装備であること

ディスプレイ：800×600ドット以上
32,000色モード以上

- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

USBモードについて

USBモードには［標準］と［PTP］*の2通りの接続方法があり、お買い上げ時には［標準］に設定されています。ここでは主に［標準］での使いかたを説明します。本機とパソコンをUSBケーブルで接続すると、本機の電源をパソコンから供給することができます（USBバス電源供給）。

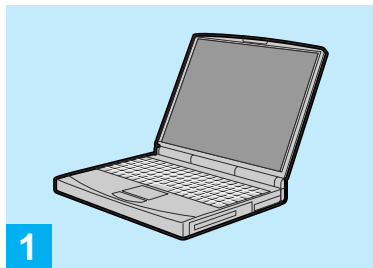
* Windows XP、Mac OS Xに対応。パソコン接続時に、本機に設定されている記録フォルダ内のデータのみをパソコンにコピーします。接続中にフォルダを選択するには、MENUボタンを押して再生フォルダの変更を行ってください。

パソコンとの通信について

パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

USB端子がないパソコンをお使いの場合は

USB端子も“メモリースティック”スロットもないパソコンをお使いの場合は、アクセサリーを使うことにより画像を取り込めます。詳しくは、デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/support-di/

❶ USBドライバをインストールする 98 2000 98SE Me

→ パソコンの電源を入れる

この時点では、本機をパソコンに接続しないでください。

- ここでは、Microsoft Windows Meの画面を使って説明します。OSの種類によって、画面表示や操作方法が異なることがあります。
- **パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。**
- Windows 2000をお使いの方は、Administrator（管理者権限）でログオンしてください。

→ 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

機種選択画面が表示されます。
機種選択画面が表示されないときは、デスクトップ画面上の（マイ コンピュータ）→（ImageMixer）の順にダブルクリックしてください。

- ディスプレイの設定を800×600ドット以上、High Color（16 bitカラー、65,000色）以上にしてください。
800×600ドット未満、256色以下ではインストールの機種選択画面が表示されません。

→「Cyber-shot」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする

インストールメニュー画面が表示されます。

4

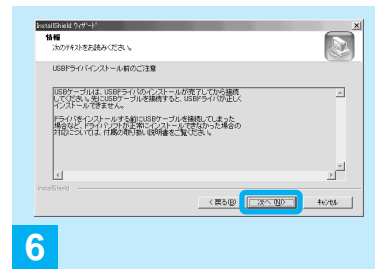
→「USB Driver」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする

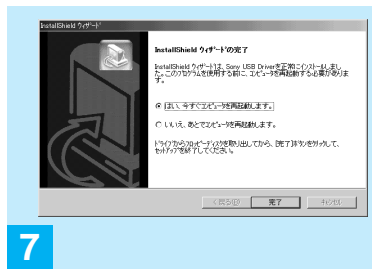
「Sony USB Driver用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示されます。

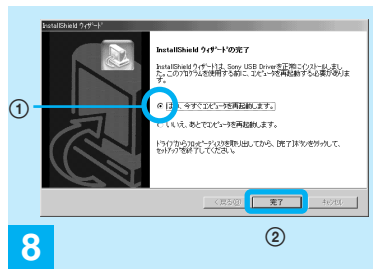
5

→［次へ］をクリックする

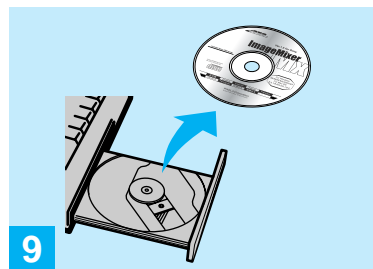
「情報」画面が表示されます。

6

→［次へ］をクリックする

USBドライバのインストールが始まります。

7

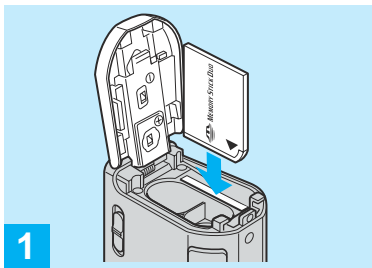
➡ インストールが終了すると「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示される

8

➡ ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］の○をクリックして◉にし、［完了］をクリックする

パソコンの電源が一度切れ、すぐに入ります（再起動）。

9

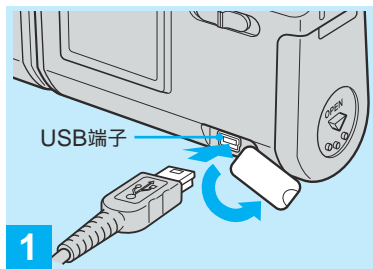
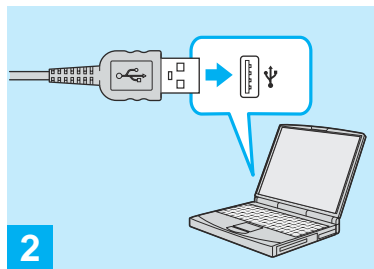
➡ 再起動後に、パソコンからCD-ROMを取り出す

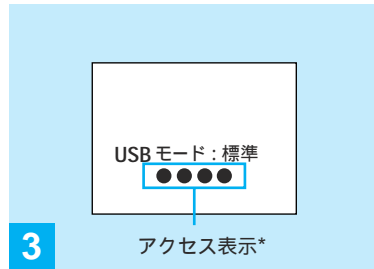
本機とパソコンでUSB接続ができるようになります。

❷ 本機とパソコンを準備する 98 98SE 2000 Me XP

→ 本機に画像を記録した“ メモリースティック　デュオ ”を入れる

→ パソコンの電源を入れる

- 推奨環境に記載のほとんどのパソコンとの接続においてUSB接続時は、パソコンから電源の供給を受けるので、本機に電池を入れておく必要はありません（USBバス電源供給）。
- 電池の劣化を防ぐために、電池は抜いて接続することをおすすめします。
- “ メモリースティック　デュオ ”の入れかたについては、17ページをご覧ください。

③ USBケーブルで接続する 98 98SE 2000 Me XP

➡ **本機の♆(USB)端子カバーを開け、付属のUSBケーブルをUSB端子につなぐ**

➡ **USBケーブルをパソコンのUSB端子につなぐ**

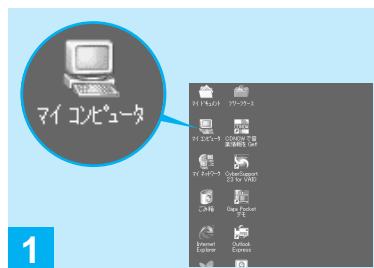
本機の電源が入ります。

本機の液晶画面に「USBモード：標準」と表示されます。
初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

* 通信中はアクセス表示が赤色になります。

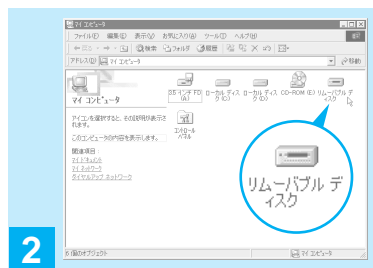
- **USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。本機とパソコンを直接接続してください。**

- 本機に“メモリースティック　デュオ”が入っていないと電源は入りませんのでご注意ください。
- デスクトップ型パソコンをお使いの場合は、パソコン後面にあるUSB端子のご使用をおすすめします。
- Windows XPをお使いの場合は、パソコンの画面に自動再生ウィザードが表示されます。63ページにお進みください。

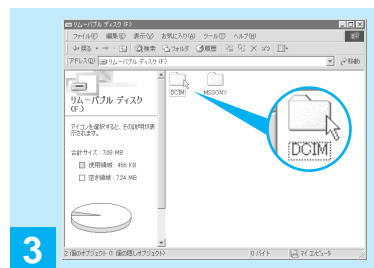
- 手順3を終了しても「USB モード：標準」と表示されないときは、本機のメニューで[🧰]の[USB]が[標準]になっているか確認してください（97ページ）。
- USBモードが[標準]のときは、POWERボタンによる操作など本機側の操作を行うことはできません。

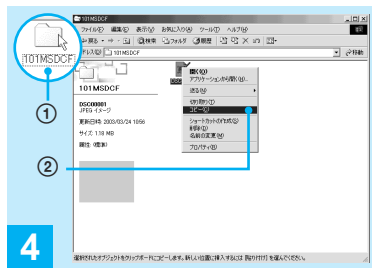
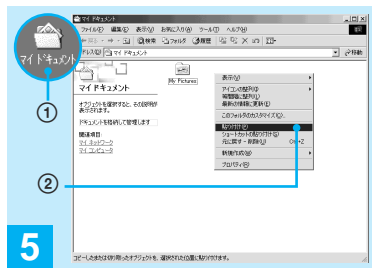
❹ 画像ファイルをパソコンにコピーする 98 98SE 2000 Me （XP 63〜64ページ）

➡ [マイ コンピュータ] をダブルクリックする

「マイ コンピュータ」画面が表示されます。

- ここでは、「マイドキュメント」というフォルダに画像をコピーします。

➡ [リムーバブル ディスク] をダブルクリックする

本機内の“ メモリースティック　デュオ ”の内容が表示されます。

- リムーバブル ディスクが表示されていないときは、62ページをご覧ください。

➡ [DCIM] をダブルクリックする

新しくフォルダを作成していない場合は、「101MSDCF」フォルダのみ表示されます。

➡ **取り込みたい画像の入っているフォルダをダブルクリックする。**
画像ファイルを右クリックしてメニューを出し、[コピー]を選ぶ

➡ **[マイドキュメント]フォルダをダブルクリックする。右クリックでメニューを出し、[貼り付け]を選ぶ**

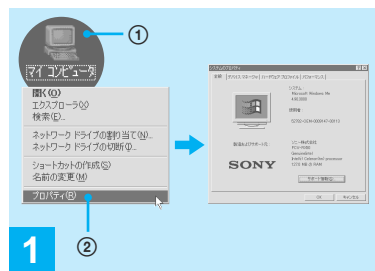
「マイドキュメント」フォルダに画像ファイルがコピーされます。

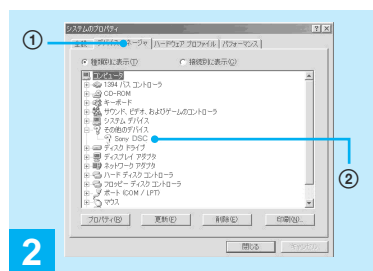
コピー先に同じファイル名の画像があるときは

元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルデータは消えます。

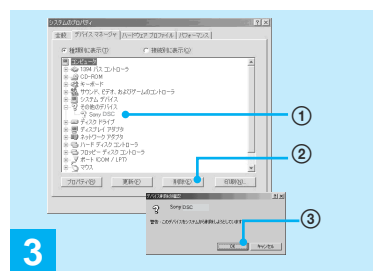
ファイル名を変更する場合

画像ファイルを上書きしないでパソコンにコピーする場合は、ファイル名を希望の名称に変更します。ファイル名を変更すると本機で再生できなくなります。本機で再生する場合は、68ページの操作を行ってください。

「リムーバブル ディスク」が表示されないときは

➡ ［マイ コンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

➡ 別のデバイスが表示されていないか確認する

① ［デバイス マネージャ］をクリックする。

②“ ”マークの付いた「Sony DSC」がないか確認する。

➡ 表示されていたら削除する

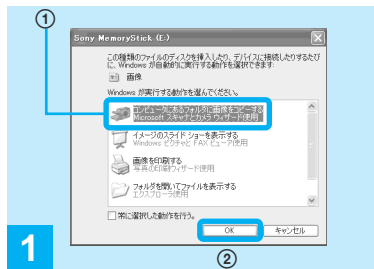
①「Sony DSC」をクリックする。
（Windows 2000をお使いの場合、「Sony DSC」を右クリックしてください。）

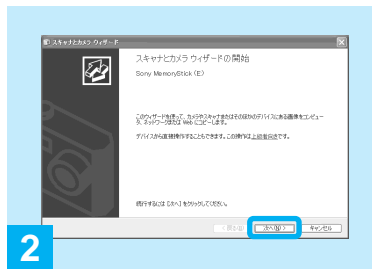
② ［削除］をクリックする。
「デバイス削除の確認」画面が表示されます。

③ ［OK］をクリックする。
デバイスが削除されます。

デバイスを削除したあと、付属のCD-ROMのUSBドライバをインストールし直してください（55ページ）。

- Windows 2000をお使いの方は、「システムのプロパティ」画面が表示されたあと、［ハードウェア］タブをクリックしてください。

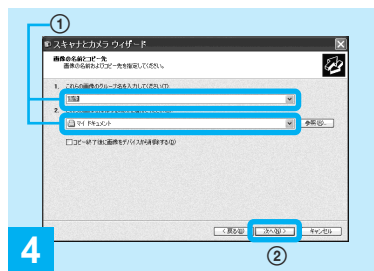
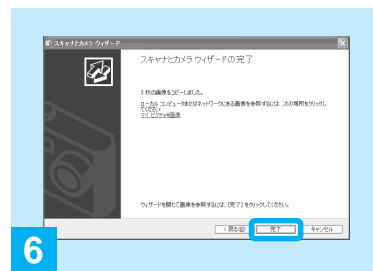
❹ 画像ファイルをパソコンにコピーする XP

➡ 59ページの手順でUSB接続を行うと、自動再生ウィザードが起動する。
［コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする。Microsoftスキャナとカメラウィザード使用］をクリックし、［OK］をクリックする

「スキャナとカメラ ウィザードの開始」画面が表示されます。

➡ ［次へ］をクリックする

本機の“メモリースティック　デュオ”に記録されている画像が表示されます。

➡ パソコンにコピーしない画像の ☑ をクリックして □ にし、［次へ］をクリックする

「画像の名前とコピー先」画面が表示されます。

❹ 画像ファイルをパソコンにコピーする（つづき）

➡ 画像の名前とコピー先を指定し、［次へ］をクリックする

画像のコピーが始まります。コピーが終了すると、「そのほかのオプション」画面が表示されます。

• ここでは、画像のコピー先を「マイドキュメント」にしています。

➡ ［作業を終了する］を選び、［次へ］をクリックする

「スキャナとカメラ ウィザードの完了」画面が表示されます。

➡ ［完了］をクリックする

ウィザード画面が閉じます。

• 続けて画像をコピーしたい場合は、65ページの❼の手順に従ってUSBケーブルを一度抜き差しして、手順❶から行ってください。

パソコンからUSBケーブルを抜くときや、USB接続中の本機から“メモリースティック デュオ”を取り出すときは

Windows 2000/Me/XPをお使いの場合は

1 タスクトレイの をダブルクリックする。

ここをダブルクリック

2 (Sony DSC) をクリックし、[停止] をクリックする。

3 取りはずすドライブを確認して、[OK] をクリックする。

4 [OK] をクリックする。
Windows XPをお使いの方は、手順4は不要です。

5 USBケーブルを抜く、または“メモリースティック　デュオ”を取り出す。

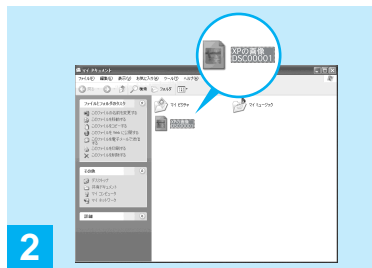
Windows 98/98SEをお使いの場合は

アクセス表示（59ページ）が白くなっていることを確認して、手順5のみ行ってください。

❺ パソコンで画像を見る 98 2000 XP 98SE Me

➡ ［スタート］→［マイドキュメント］をクリックする

「マイドキュメント」フォルダの内容が表示されます。

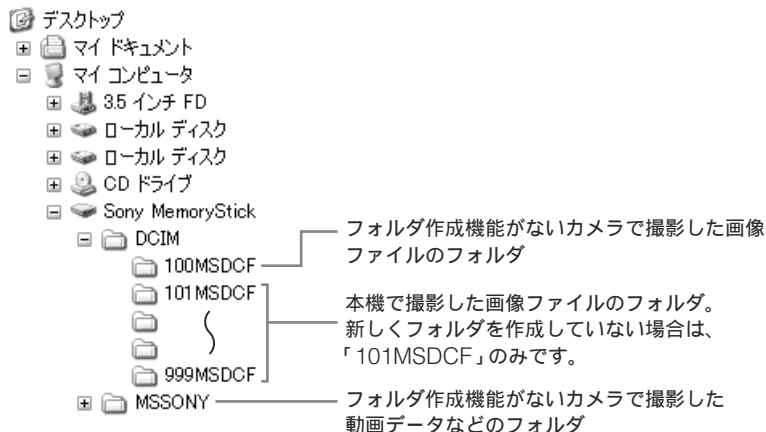
- 60、63ページで、「マイドキュメント」フォルダに画像をコピーした場合の説明です。
- ここではWindows XPの画面を使って説明します。Windows XP以外をお使いの場合は、デスクトップ画面上の［マイドキュメント］をダブルクリックしてください。

➡ 見たい画像ファイルをダブルクリックする

画像が開きます。

- **お使いのソフトウェアによっては、対面撮影した画像が180度回転して表示される場合があります。**
  画像の回転を直すには、ソフトウェアの回転機能などをお使いください。

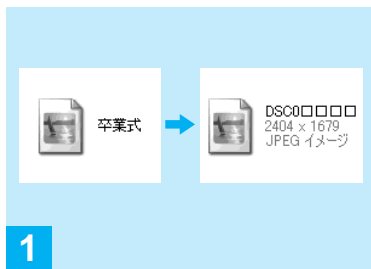
画像ファイルの保存先とファイル名

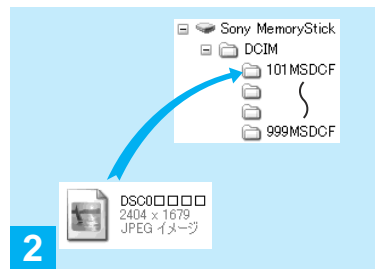
本機で撮影した画像ファイルは、“ メモリースティック　デュオ ”内のフォルダにまとめられています。

Windows XPで見たときの例

フォルダ名	ファイル名	ファイルの内容
101MSDCF 〜 999MSDCF	DSC0□□□□.JPG	静止画ファイル
	MOV0□□□□.MPG	動画ファイル

- 「100MSDCF」または「MSSONY」のフォルダには本機で画像を記録できません。再生のみ可能です。
- フォルダについては、37ページをご覧ください。
- □□□□には0001から9999までの数字が入ります。

パソコンにコピーした画像ファイルを本機で見るには

パソコンにコピーした画像ファイルが“メモリースティック デュオ”内に残っていない場合、本機でもう一度その画像を見るには、パソコンにある画像ファイルを“メモリースティック デュオ”にコピーしてから本機で再生します。

1 → 画像ファイルを右クリックし、［名前の変更］をクリックする。ファイル名を「DSC0□□□□」に変更する

□□□□には、0001から9999までの数字を入れます。

2 → ファイルを“メモリースティック デュオ”内のフォルダにコピーする

① 画像ファイルを右クリックし、［コピー］をクリックする。

② ［マイコンピュータ］内の［リムーバブルディスク］または［Sony MemoryStick］から、［DCIM］フォルダを選ぶ。

③ フォルダ内の［□□□MSDCF］フォルダを右クリックし、［貼り付け］をクリックする。
□□□には、100から999までの数字が入ります。

- 本機設定のファイル名を変更していない場合は、手順1は必要ありません。
- 画像サイズによっては再生できない画像があります。
- パソコンで画像を加工したファイルは本機での再生を保証しません。
- 画像ファイルをコピーするときに上書きの警告が出る場合は、手順1で別の数字を入れ直してください。
- 画像ファイルを入れるフォルダがない場合は、まず本機でフォルダを作成してから画像ファイルのコピーを行ってください（25ページ）。

- パソコンの設定によっては、拡張子が表示されます。静止画の拡張子はJPG、動画の拡張子はMPGです。拡張子は変更しないでください。

Macintoshをお使いの場合

Mac OS 9.1/9.2、Mac OS X（v10.0/v10.1/v10.2）をお使いの方は手順❷から操作してください。
ディスプレイの設定を800×600ドット以上、32,000色モード以上にしてください。

❶USBドライバをインストールする（Mac OS 8.5.1/8.6/9.0のみ）

1 パソコンの電源を入れる。

- パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。

2 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。
機種選択画面が表示されます。

3「Cyber-shot」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする。
インストールメニュー画面が表示されます。

4「USB Driver」をクリックする。
「USB Driver」画面が表示されます。

5 OSの入っているハードディスクアイコンをダブルクリックして、画面を開く。

6 手順4で開いたウィンドウから、下記の2つのファイルを、手順5で開いたウィンドウの「システムフォルダ」のアイコンの上に移動（ドラッグ＆ドロップ）する。

- Sony USB Driver
- Sony USB Shim

7 確認のメッセージが表示されたら［OK］をクリックする。

8 パソコンを再起動し、CD-ROMを取り出す。

❷本機とパソコンを準備する

詳しくは、58ページをご覧ください。

❸USBケーブルで接続する

詳しくは、59ページをご覧ください。

パソコンからUSBケーブルを抜くときや、USB接続中の本機から“メモリースティック　デュオ”を取り出すときは

“メモリースティック”またはドライブのアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップしてから、USBケーブルを抜くなどの作業を行ってください。

- Mac OS X v10.0をお使いの場合は、パソコンの電源を切ってからUSBケーブルを抜く、または“メモリースティック デュオ”を取り出してください。

❹画像ファイルをパソコンにコピーする

1 デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコンをダブルクリックする。
本機内の“メモリースティック デュオ”の内容が表示されます。

2［DCIM］をダブルクリックする。

3 取り込みたい画像の入っているフォルダをダブルクリックする。

4 画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする。
ハードディスクに画像ファイルがコピーされます。

❺パソコンで画像を見る

1 ハードディスクアイコンをダブルクリックする。

2 画像ファイルをフォルダの中から選んでダブルクリックする。
画像が開きます。

- **お使いのソフトウェアによっては、対面撮影した画像が180度回転して表示される場合があります。**
画像の回転を直すには、ソフトウェアの回転機能などをお使いください。

「Image Transfer」をインストールする

「Image Transfer」はWindowsのみに対応しています。
本機に付属のCD-ROMに入っているソフトウェア「Image Transfer」（イメージトランスファー）を使うと、本機で撮影した画像をお使いのパソコンに簡単に取り込むことができます。

- パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- 「Image Transfer」をお使いになるためには、USBドライバが必要です。お使いのパソコンに必要なドライバがインストールされていないときは、ドライバのインストールをうながす画面が表示されます。このときは、画面の指示に従って操作してください（55ページ）。

1 パソコンの電源を入れる

- Windows 2000をお使いの方は、Administrator（管理者権限）でログオンしてください。
- Windows XPをお使いの方は、コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

2 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

機種選択画面が表示されます。

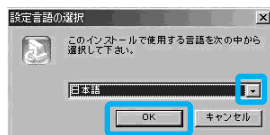
機種選択画面が表示されないときは、デスクトップ画面上の（マイコンピュータ）→（ImageMixer）の順にダブルクリックしてください。

3 「Cyber-shot」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする

インストールメニューが表示されます。

4 インストールメニュー画面の中の「Image Transfer」の部分に⇖（ポインタ）を動かし、クリックする

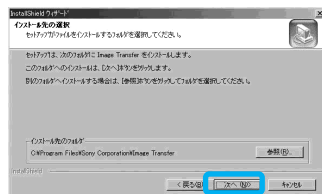
「設定言語の選択」画面が表示されます。

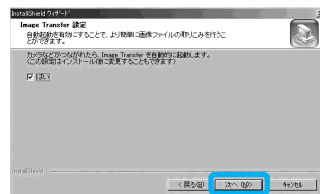
5 [▼] をクリックして「日本語」を選び、[OK] をクリックする

「Image Transfer用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示されます。

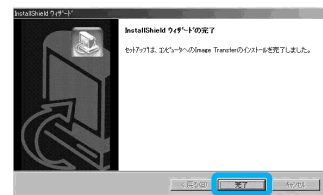
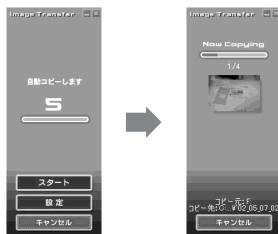
6 [次へ] をクリックする

「使用許諾契約」画面が表示されたら、[はい] をクリックする。
ソフトウェア使用許諾契約書の内容をよくご確認ください。同意された場合は、インストールの手順に進みます。「情報」画面が表示されます。

7 [次へ] をクリックする

8 「インストール先の選択」画面でインストールするフォルダを選び、[次へ] をクリックする。「プログラムフォルダの選択」画面でプログラムフォルダを選び、[次へ] をクリックする

9 「カメラなどがつながれたら Image Transfer を自動的に起動します。」の「はい」がチェックされているのを確認し、[次へ] をクリックする

「Image Transfer」のインストールが始まります。
インストールが終わると、「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示されます。

10 [完了] をクリックする

インストール画面が閉じます。

「Image Transfer」で画像をコピーする

- 通常は「マイドキュメント」フォルダ内に「Image Transfer」、「日付」フォルダが作成され、その中に画像ファイルがすべてコピーされます。
- 「Image Transfer」の設定は設定画面で変更できます（74ページ）。
- 「ImageMixer」（75ページ）がインストールされていると、「Image Transfer」で画像をコピーしたあとに「ImageMixer」が自動起動し、画像一覧が表示されます。

58〜59ページの操作を行い、本機とパソコンを付属のUSBケーブルでつないでください。

「Image Transfer」が自動起動し、“メモリースティック　デュオ”内の画像がコピーされます。

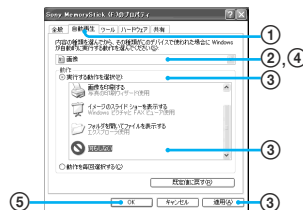
- Windows XPをお使いの場合は、右記をご覧ください。
- 「Image Transfer」が自動起動しない場合は、タスクトレイの「Image Transfer」のアイコンをダブルクリックして起動してください。

ここをダブルクリック

Windows XPの場合

Windows XPでは、自動再生ウィザードが起動するように設定されています。自動再生ウィザードを起動しないようにするには、下記の手順で設定を解除してください。

1. 本機とパソコンを付属のUSBケーブルで接続する（59ページ）
2. ［スタート］→［マイコンピュータ］をクリックする
3. ［Sony MemoryStick］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする
4. 設定を解除する

画像をパソコンに取り込む

① ［自動再生］をクリックする

② 「内容の種類」を［画像］にする

③ 「動作」の［実行する動作を選択］をチェックして［何もしない］を選び、［適用］をクリックする

④ 手順②で［ビデオファイル］と［混在したコンテンツ］を選び、手順③を繰り返す

⑤ ［OK］をクリックする
「プロパティ」画面が閉じます。

「Image Transfer」の設定を変更する

「Image Transfer」の設定を変更することができます。
タスクトレイの「Image Transfer」のアイコンを右クリックし［設定画面を開く］を選んでください。
設定できるのは、「基本の設定」、「コピーの設定」、「削除の設定」です。

ここを右クリック

「Image Transfer」が起動すると、下記の画面が表示されます。

「Image Transfer」起動時に［設定］を選んだ場合は、「基本の設定」のみ変更できます。

「ImageMixer」をインストールする

「ImageMixer」はWindows、Macintosh（Mac OS Xを除く）ともに対応しています。
本機に付属のCD-ROMに入っているソフトウェア「ImageMixer Ver.1.5 for Sony（イメージミキサーバージョン1.5フォーソニー）」を使うと、本機で撮影した画像をお使いのパソコンで手軽に楽しめます。

- パソコンの使用動作環境について詳しくは、CD-ROMに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使用中の場合には、使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- Windowsをお使いの方は「Image Transfer」（70ページ）で簡単にパソコンに画像を取り込むことができます。本機からパソコンへ画像のコピーのみ行うという方に最適です。

ImageMixerに関するお問い合わせ
ピクセラユーザーサポートセンター
電話：072-224-0181
受付時間：月～日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
URL：http://www.imagemixer.com

Windowsの場合

1 パソコンの電源を入れる

- Windows 2000をお使いの方は、Administrator（管理者権限）でログオンしてください。
- Windows XPをお使いの方は、コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

2 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

機種選択画面が表示されます。

機種選択画面が表示されないときは、デスクトップ画面上の（マイコンピュータ）→（ImageMixer）の順にダブルクリックしてください。

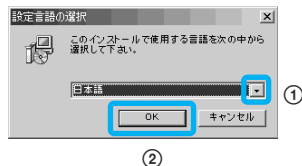
3 「Cyber-shot」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする

インストールメニューが表示されます。

4 インストールメニュー画面の中の「ImageMixer」の部分に（ポインタ）を動かし、クリックする

「設定言語の選択」画面が表示されます。

「ImageMixer」をインストールする（つづき）

5 [▼] をクリックして「日本語」を選び、[OK] をクリックする

「ImageMixer用のInstallShield ウィザードへようこそ」画面が表示されます。

6 画面の指示に従って操作する

続けて指示に従って「ImageMixer」と「WinCDR Lite for Data」のインストールを行う。

インストール完了後、DirectXの「情報」画面が表示された場合は、画面の指示に従ってインストールし、再起動してください。その後、手順8に進んでください。

7 画面の指示に従って再起動する

8 パソコンからCD-ROMを取り出す

Macintoshの場合

1 パソコンの電源を入れる。

2 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。
機種選択画面が表示されます。

3 機種選択画面の中の「Cyber-shot」をクリックする。

4 インストールメニュー画面の中の「ImageMixer」をクリックする。

5 リストボックスから［日本語］を選択し、[Install] ボタンをクリックする。

6 画面の指示に従って操作する。
インストール画面の「完了」ボタンをクリックしてインストール画面を閉じてください。

7 （アイコン）をクリックしてタイトル画面を閉じる。

8 パソコンからCD-ROMを取り出す。

「ImageMixer」で画像を取り込む

「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」を使って、本機からパソコンに画像を取り込みます。

操作の前に

58〜59ページの操作を行い、本機とパソコンを付属のUSBケーブルでつなぎ、本機を準備してください。

- 「ImageMixer」の使いかたについて詳しくは、画面右上の ? をクリックして、ヘルプをご覧ください。

Windowsの場合

ここでは、「マイドキュメント」フォルダに画像をコピーします。

1 「ImageMixer」を起動する

デスクトップ画面上の（IMx）（ImageMixer Ver.1.5 for Sony）をダブルクリックします。
「ImageMixer」が起動し、メイン画面が表示されます。

2 （アイコン）をクリックする

画像を取り込むための画面が表示されます。

3 画像をパソコンに取り込む

① 画面左上の（アイコン）をクリックする。

② 画面左上の（MS）をクリックする。
"メモリースティック　デュオ"内の画像が一覧表示されます。

③ 画面右上の（アイコン）をクリックする。
「入力の環境設定」画面が表示されます。

④「入力モード保存先の設定」で［参照］をクリックし、表示される「フォルダの参照」画面で［マイドキュメント］をクリックして、［OK］をクリックする。

⑤ OK をクリックする。

⑥ 画面右上のをクリックする。

⑦ パソコンに取り込む画像をクリックし、画面右上のをクリックする。
画像がパソコンに取り込まれます。

- 画像をにドラッグ＆ドロップすることもできます。

Macintoshの場合

1 「ImageMixer」を起動する。

2 をクリックする。

3 画像をパソコンに取り込む。

① 画面左上のをクリックする。

② 画面左上のをクリックする。
“ メモリースティック　デュオ ” 内の画像が一覧表示されます。

③ 画面右上のをクリックする。
「入力の環境設定」画面が表示されます。

④「入力モード保存先の設定」で［参照］をクリックし、画像の保存先を選び、［OK］をクリックする。

⑤ OK をクリックする。

⑥ 画面右上のをクリックする。

⑦ パソコンに取り込む画像をクリックし、画面右上のをクリックする。
画像がパソコンに取り込まれます。

- 画像をにドラッグ＆ドロップすることもできます。

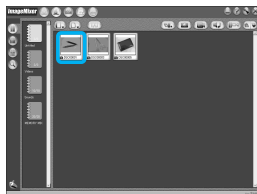
「ImageMixer」で画像を見る

77、78ページでパソコンに取り込んだ画像を「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」を使って見ます。

- 「ImageMixer」を使うと、取り込んだ画像を編集することもできます。詳しくは、画面右上の ? をクリックして、ヘルプをご覧ください。

Windowsの場合

1 をクリックする

画像を見るための画面が表示されます。

2 表示したい画像をダブルクリックする

選んだ画像が表示されます。

動画を再生するには(►)、再生を停止するには(■)をクリックします。

前の画面に戻るには

画面右上の をクリックします。

Macintoshの場合

1 をクリックする。

2 表示したい画像をダブルクリックする。
選んだ画像が表示されます。

前の画面に戻るには

画面右上の をクリックします。

「ImageMixer」で画像を印刷する

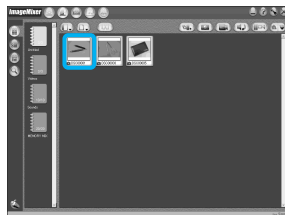
「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」で開いた画像をプリンターで印刷します。
あらかじめプリンターとパソコンを接続し、両方の機器の電源を入れておきます。
プリンターの接続や設定などについて詳しくは、プリンターに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 動画の場合は先頭のシーンが印刷の対象となります。

Windowsの場合

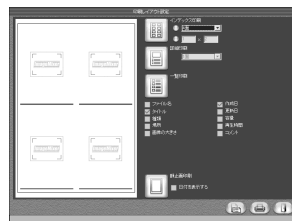
1 画像を表示する

79ページの手順1の操作を行ってください。

2 印刷したい画像をクリックする

3 をクリックして表示されるメニューから［印刷］をクリックする

「印刷レイアウト設定」画面が表示されます。

4 レイアウトを設定する

お好みに応じて設定してください。

通常は画面下の をクリックします。

5 用紙の設定をする

① 画面右下の をクリックする。
「プリンタの設定」画面が表示されます。

② 用紙のサイズや印刷の向きを設定し、［OK］をクリックする。

6 印刷する

① 画面右下の をクリックする。
「印刷」画面が表示されます。

② [OK] をクリックする。

画像が印刷されます。

印刷できないときは

プリンターの接続や設定が正しいかどうか確認してください。詳しくは、お使いのプリンターに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 印刷する画像サイズ、パソコン環境などによっては、印刷に時間がかかることがあります。

Macintoshの場合

1 画像を表示する。

2 印刷したい画像をクリックする。

3 をクリックして表示されるメニューから［印刷］をクリックする。
「印刷レイアウト設定」画面が表示されます。

4 レイアウトを設定する。
通常は画面下の をクリックします。

5 をクリックする。
「プリンタの設定」画面が表示されます。

6 用紙のサイズや印刷の向きを設定し、[OK] をクリックする。

7 をクリックする。
「印刷」画面が表示されます。

8 ［プリント］をクリックする。
画像が印刷されます。

「ImageMixer」でビデオCDを作成する

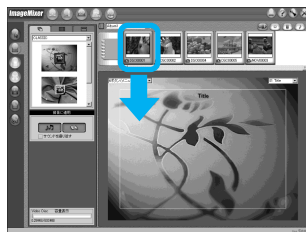
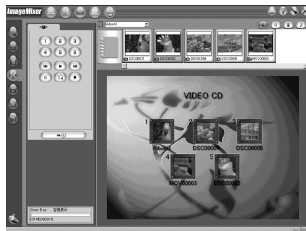
「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」を使ってビデオCDを作成することができます。作成したビデオCDは、ビデオCD対応のDVDプレーヤーで再生できます。パソコンをご利用の場合は、ビデオCD対応のアプリケーションソフトで再生できます。

1 「ImageMixer」を起動する

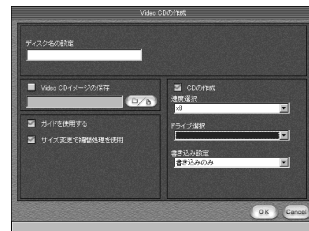
2 をクリックする

ビデオディスク作成モードが起動します。

3 ファイルやアルバムをメニュー画面にドラッグ&ドロップする

メニュー画面に画像が追加されます。

4 をクリックする

プレビューを行うこともできます。

5 をクリックする

ディスク作成のダイアログが表示されます。

6 CD-RドライブにしいCD-Rを入れて［OK］ボタンをクリックする

ディスクの作成が始まります。

- CD-RWはお使いになれません。
- ビデオCDの作成にはCD-Rドライブが必要です。

Macintosh版について

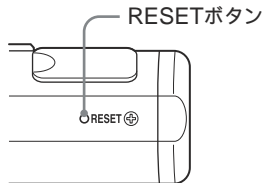
- ビデオCDのライティングを行うにはRoxio社のToast（別売り）が必要です。
- プレビューの表示で動画ファイルの再生時間が短くなることがあります。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

1 83～93ページの項目をチェックし、本機を点検する

液晶画面に「C：□□：□□」のような表示が出たときは自己診断表示機能が働いています。94ページをご覧ください。

2 本体底面のRESETボタンを先の細いもので押してから、電源を入れる（この操作を行うと、日時などの設定は解除されます）

3 デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページで確認する
http://www.sony.co.jp/support-di/

4 テクニカルインフォメーションセンターに電話で問い合わせる（裏表紙）

電池・電源

症状	原因	処置
電池の残量表示が正しくない。または電池残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。	● 温度が極端に低いところで使用している。 ● 電池が消耗している。 ● 電池の電極、または電池／“メモリースティック　デュオ”カバーの端子部が汚れている。 ● 電池にメモリー効果が発生している（11ページ）。 ● 電池そのものの寿命（102ページ）。	— ➔ 充電された電池を取り付ける（10ページ）。 ➔ 電池の電極と電池／“メモリースティック　デュオ”カバーの電池端子部の汚れを乾いた布などで拭き取る（11ページ）。 ➔ 電池を使い切ってから充電することで正常に戻ります。 ➔ 新しい電池と交換する。
電池の消耗が早い。	● 温度が極端に低いところで撮影／再生している。 ● 充電が不充分。 ● 電池そのものの寿命（102ページ）。	— ➔ 充電する（10ページ）。 ➔ 新しい電池と交換する。

電池・電源（つづき）

症状	原因	処置
電源が入らない。	● 電池が正しく取り付けられていない。 ● 電池が消耗している。 ● 電池そのものの寿命（102ページ）。	→ 電池を正しく取り付ける（12ページ）。 → 充電された電池を取り付ける（10ページ）。 → 新しい電池と交換する。
電源が途中で切れる。	● 操作しない状態が3分以上続くと、電池の消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる（15ページ）。 ● 電池が消耗している。	→ 電源を入れ直す（14ページ）。 → 充電された電池を取り付ける（10ページ）。

静止画／動画を撮る

症状	原因	処置
液晶画面に被写体が写らない。	● モードスイッチが「▶」になっている。	→ モードスイッチを「📷」または「🎞」にする（20、46ページ）。
フォーカスが合わない。	● 被写体が近すぎる。 ● 静止画撮影時、シーンセレクションの（イルミネーションスナップモード）、（夜景モード）、(ビビッドネイチャーモード)または（アクティブアウトドアモード）が選ばれている。 ● 被写体までの距離が1 m以内で動画を撮影している。 ● フォーカスプリセットになっている。	→ 最短撮影距離（10 cm）よりもカメラを離して撮影する（20ページ）。 → シーンセレクションを解除する（29ページ）。 → フォーカスプリセットにする（30ページ）。 → [フォーカス] を [オート] にする（31ページ）。
画像が暗い。	● 液晶画面が暗い。	→ [LCDライト] を [入] にする（21、97ページ）。
画像が明るい。	● 液晶画面が明るい。	→ [LCDライト] を [切] にする（21、97ページ）。

症状	原因	処置
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	● スミアという現象。	→ 故障ではない。
撮影できない。	●“ メモリースティック　デュオ ”が入っていない。 ●“ メモリースティック　デュオ ”の容量がない。 ● 誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”を使用し、誤消去防止スイッチを「LOCK」にしている。 ● フラッシュ充電中は撮影できない。 ● 静止画撮影時、モードスイッチが「📷」になっていない。 ● 動画撮影時、モードスイッチが「🎞」になっていない。	→“ メモリースティック　デュオ ”を入れる（17ページ）。 →“ メモリースティック　デュオ ”内の画像を削除する（50ページ）、またはフォーマットする（51ページ）。 →“ メモリースティック　デュオ ”を交換する。 → 解除する（100ページ）。 — → モードスイッチを「📷」にする（20ページ）。 → モードスイッチを「🎞」にする（46ページ）。
フラッシュ撮影ができない。	● モードスイッチが「🎞」または「▶」になっている。 ● 設定が⚡（発光禁止）になっている。 ● 静止画撮影時、シーンセレクションの☽（夜景モード）、⛰（ビビッドネイチャーモード）が選ばれている、または連写設定になっている。	→ モードスイッチを「📷」にする（20ページ）。 → オート（表示なし）、👁（赤目軽減）または⚡（強制発光）にする（24ページ）。 → その他のモードにする（18、28ページ）。
被写体の目が赤く写る。	—	→ 👁（赤目軽減）にする（24ページ）。
正しい撮影日時が記録されない。	● 日付・時刻が合っていない。	→ 日付・時刻を合わせる（15ページ）。
動画を撮影するとき画像がコマ送りのように見える。	● 画像処理のため、コマ送りのようになる。	→ 記録される画像には影響ありません。

画像を見る

症状	原因	処置
再生できない。	● モードスイッチが「▶」になっていない。 ● パソコンでフォルダ／ファイルの名前を変更した。 ● パソコンで画像を加工したものは本機で再生できない。 ● USBモードになっている。	➔ モードスイッチを「▶」にする（35ページ）。 ➔ 68ページをご覧ください。 — ➔ USB接続を終了する（65、69ページ）。
パソコンで再生できない。	—	➔ 87ページをご覧ください。
拡大再生できない。	● 本機以外で作成、加工をしたファイルは拡大再生できない。	—
プリント予約マークが付かない。	● 動画にはプリント予約マークを付けられない。	—

画像を削除する

症状	原因	処置
削除できない。	● 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”を使用し、誤消去防止スイッチを「LOCK」にしている。	➔ 誤消去防止スイッチを解除する（100ページ）。
誤って消してしまった。	● 一度削除した画像は元に戻せない。	➔ 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック　デュオ”を使用しているときは、誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、誤消去を防げます（100ページ）。

パソコン

パソコンとの接続方法や最新サポート情報はデジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。

Digital Imaging Customer Support http://www.sony.co.jp/support-di/

症状	原因	処置
対応しているOSが分からない。	—	→「パソコンの推奨使用環境」を確認する(54ページ)。
USBドライバをインストールできない。	—	→ Windows 2000を使用している場合は、Administrator(管理者権限)でログオンする(55ページ)。
本機がパソコンに認識されない。	● 付属のUSBケーブルを使っていない。	→ 付属のUSBケーブルを使う(59ページ)。
	● USBケーブルがしっかり差し込まれていない。	→ 一度パソコンと本機からUSBケーブルを抜いて、しっかりと差し込み、「USBモード」になっていることを確認する(59、69ページ)。
	● メニューで[(アイコン)]の[USB]が[PTP]になっている。	→[標準]にする(97ページ)。
	● パソコンのUSB端子に本機の他に機器が接続されている。	→ キーボード/マウス以外は取りはずす。
	● 本機がパソコン本体に直接接続されていない。	→ USBハブ経由などで接続せずに、本機とパソコンを直接接続する。
	● USBドライバがインストールされていない。	→ USBドライバをインストールする(55、69ページ)。
	● 付属のCD-ROMからUSBドライバをインストールする前に、USBケーブルで本機とパソコンを接続したため、デバイスが正しく認識されていない。	→ 正しく認識されなかったデバイスを削除してから、USBドライバをインストールする(55、62、69ページ)。
USB接続時に電源が入らない。	● 本機がパソコン本体に直接接続されていない。	→ USBハブ経由などで接続せずに、本機とパソコンを直接接続する。
	●"メモリースティック デュオ"が入っていない。	→"メモリースティック デュオ"を入れる(17ページ)。

パソコン（つづき）

症状	原因	処置
画像をコピーできない。	● 本機とパソコンの接続が正しくない。 ● お使いのOSによって手順が違う。 — —	➔ 本機とパソコンを正しくUSB接続する（59ページ）。 ➔ お使いのOSに対応した手順でコピーする（60、63、69ページ）。 ➔「Image Transfer」ソフトウェアをお使いの場合は、73ページをご覧ください。 ➔「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」ソフトウェアをお使いの場合は、77ページをご覧になるか、ヘルプをご覧ください。
USB接続をしたときに「Image Transfer」が自動起動しない。	— —	➔「Image Transfer」を「自動的に起動する」に設定する（74ページ）。 ➔ パソコンの電源を入れた状態でUSB接続をする（73ページ）。
画像を再生できない。	— —	➔「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」ソフトウェアをお使いの場合は、79ページをご覧になるか、ヘルプをご覧ください。 ➔ パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
画像が上下反転して表示される。	● 対面撮影した画像は、お使いのソフトウェアによっては180度回転して表示される場合がある。	➔ 画像の回転を直すには、お使いのソフトウェアの回転機能などをお使いください。
動画を再生すると画像が途切れる。	●“ メモリースティック　デュオ ”から直接再生している。	➔ パソコンのハードディスクに動画をコピーして、ハードディスクのファイルを再生する（73、77ページ）。
画像を印刷できない。	— —	➔ お使いのプリンターの設定を確認してください。 ➔ 80ページをご覧になるか、「ImageMixer Ver.1.5 for Sony」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

症状	原因	処置
付属のCD-ROMをパソコンにセットするとエラーメッセージが表示される。	● パソコンのディスプレイの設定が正しくない。	→ パソコンのディスプレイの設定を以下のようにする。 Windowsの場合： 800×600ドット以上 High Color（16 bitカラー、65,000色）以上 Macintoshの場合： 800×600ドット以上 32,000色モード以上

“ メモリースティック　デュオ ”

症状	原因	処置
本機に入らない。	●“ メモリースティック　デュオ ”を入れる向きが違っている。 ●“ メモリースティック　デュオ ”がメモリースティック　デュオ　アダプターに装着されている。	→ 正しい向きにして入れる（17ページ）。 → 本機に“ メモリースティック　デュオ ”を直接入れる。
記録できない。	● 誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”を使用し、誤消去防止スイッチを「LOCK」にしている。 ●“ メモリースティック　デュオ ”の容量がいっぱいになっている。	→ 誤消去防止を解除する（100ページ）。 → 不要な画像を削除する（50ページ）。
フォーマットできない。	● 誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”を使用し、誤消去防止スイッチを「LOCK」にしている。	→ 誤消去防止を解除する（100ページ）。
誤ってフォーマットしてしまった。	● フォーマットすると、他機でプロテクト（誤消去防止機能）をかけた画像を含め、“ メモリースティック　デュオ ”内のすべてのデータが消去され、元に戻せない。	→ 誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”を使用しているときは、誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると誤フォーマットを防げます（100ページ）。

PictBridge規格対応プリンター

症状	原因	処置
プリンターと接続できない。	● プリンターがPictBridge規格に対応していない。 ● プリンターが接続できない状態になっている。 ● 本機とプリンターが正しく接続されていない。	→ PictBridge規格に対応しているかどうか、プリンターのメーカーにお問い合わせください。 → プリンターの電源が入り、接続可能な状態になっていることをご確認ください。 → 本機とプリンターを接続する準備を完了してから、接続する（42、43ページ）。
プリントできない。	● プリンターと接続されていない。 ● プリンターの電源が入っていない。 ● 動画はプリントできない。 ● 本機以外で撮影した静止画、またはパソコンで加工した画像はプリントできないことがある。	→ 本機とプリンターがUSBケーブルで正しく接続されているかどうかをご確認ください。 → プリンターの電源を入れる。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。 — —
プリントが中断される。	● マークが消える前に、USBケーブルを抜いた。	—
日付挿入ができない。	● プリンターが対応していない。	→ 対応しているかどうかはプリンターのメーカーにお問い合わせください。
日付部分に「---- -- --」などが印刷される。	● 画像ファイルに印刷可能な撮影日時情報が入っていない。	→ 印刷可能な撮影日時情報が入っていない画像ファイルでは、日付印刷を行うことができない。［日付挿入］を［切］に設定して印刷してください（45ページ）。

その他

症状	原因	処置
操作を受け付けない。	● 電池が残り少ない（表示が出る）。 ● USB接続している。	→ 充電する（10ページ）。 → USBケーブルを抜く（65、69ページ）。
電源が入っているのに操作できない。	● 内部システムの誤動作。	→ 電池を取りはずし、約1分後再び電池を取り付け、電源を入れる。これでも操作できないときは、本体底面のRESETボタンを先の細いもので押してから、電源を入れる（83ページ）。（この操作をすると日時などの設定が解除される。）
画面上の表示が分からない。	—	→ 表示の種類を確認する（106〜108ページ）。
レンズがくもる。	● 結露している。	→ 電源を切って約1時間放置してから使用する（98ページ）。

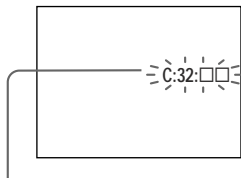
警告表示について

液晶画面には次のような表示が出ることがあります。

表示	意味／処置
メモリースティックがありません	●“ メモリースティック　デュオ ”を入れてください（17ページ）。
システムエラー	● 電源を入れ直してください（14ページ）。
メモリースティックエラー	● 本機では使えない“ メモリースティック　デュオ ”が入っている（100ページ）。 ●“ メモリースティック　デュオ ”が壊れている。“ メモリースティック　デュオ ”の端子部が汚れている。 ●“ メモリースティック　デュオ ”を正しく入れてください（17ページ）。
非対応メモリースティックです	● 本機では使えない“ メモリースティック　デュオ ”が入っている（100ページ）。
フォーマットエラー	●“ メモリースティック　デュオ ”が正しくフォーマットされていない。フォーマットし直してください（51ページ）。
メモリースティックがロックされています	● 誤消去防止スイッチのある“ メモリースティック　デュオ ”を使用し、誤消去防止スイッチを「LOCK」にしている。解除してください（100ページ）。
メモリースティックの残量がありません	●“ メモリースティック　デュオ ”の空き容量が足りないので、記録ができない。不要な画像を削除してください（50ページ）。
読み出し専用のメモリースティックです	● 本機ではこの“ メモリースティック　デュオ ”への画像記録や消去はできません。
このフォルダにはファイルがありません	● フォルダ内に画像が記録されていない。
フォルダエラー	● 上3桁の番号が同じフォルダが“ メモリースティック　デュオ ”内にある（例：123MSDCFと123ABCDE）。別のフォルダを選択するかフォルダを作成してください。
これ以上フォルダ作成できません	● 上3桁の番号が「999」のフォルダが“ メモリースティック　デュオ ”内にある。本機でこれ以上のフォルダを作成できません。
記録できません	● 本機で記録フォルダに設定できないフォルダを選択した。他のフォルダを選択してください（26ページ）。

表示	意味／処置
ファイルエラー	● 画像再生時の異常。
ファイルがプロテクトされています	● 他機で画像にプロテクトがかけられている。他機でプロテクトを解除してください。
画像サイズオーバーです	● 本機で再生できないサイズの画像を再生しようとしている。 ● 他機で撮影した画像を、PictBridge機能を使用して印刷しようとしている。
無効な操作です	● 他機で作成したファイルにプリント予約マークを付けようとしている。
	● 電池の残量が少ない。電池を充電してください（10ページ）。ご使用状況によっては、電池の残量が5分から10分でも点滅することがあります。
拡大再生できません	● 他機で作成したファイルを拡大再生しようとしている。 ● パソコンで画像を加工したものは本機で拡大再生できない。 ● 拡大再生時の異常。
プリンタービジー	● 接続しているプリンターが印刷中などで、印刷要求を受け付けることができない。接続しているプリンターを確認してください。
用紙エラー	● 接続しているプリンターが、用紙切れ、紙詰まりなどの用紙に関するエラーを起こしている。
インクエラー	● 接続しているプリンターが、インクに関するエラーを起こしている。
プリンターエラー	● プリンターからエラー発生の通知が来ている。接続しているプリンターを確認してください。またはプリントしたい画像が壊れていないか確認してください。
	● 接続しているプリンターにデータを転送中。USBケーブルを抜かないでください。

自己診断表示 ― アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに液晶画面にアルファベットと4桁の数字でお知らせする機能です。表示によって、異常の内容が分かるようになっています。
詳しくは右の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

自己診断表示

表示	原因	対応のしかた
C:32:□□	ハードウェアの異常。	● 電源を入れ直す（14ページ）。
C:13:□□	データが読めない／書けない。	●“メモリースティック　デュオ”を数回抜き差しする。
	フォーマットしていない“メモリースティック　デュオ”を入れた。	● フォーマットする（51ページ）。
	本機では使えない“メモリースティック　デュオ”を入れた。または、データが壊れている。	●“メモリースティック　デュオ”を交換する（17ページ）。
E:61:□□ E:91:□□	何らかの異常が起きている。	● 本体底面のRESETボタン（83ページ）を押してから、電源を入れる。

「対応のしかた」を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは修理が必要な場合があります。テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際、表示の5桁のすべてをお知らせください。

メニュー項目について

モードスイッチの位置によって操作できる項目は変わります。
画面には、設定可能な項目のみが表示されます。
■印はお買い上げ時の設定です。

モードスイッチが「📷」で、メニューの［📷］を選択しているとき

項目	設定	意味
サイズ・連写	■2M／VGA／2M連写／VGA連写	静止画撮影時の画像サイズを選ぶ（18、31ページ）。
フォーカス	■オート／🌷0.2m／👤0.5m／👥1.0m／▲∞	オートフォーカスを選択したり、フォーカスプリセットで距離を設定する（30ページ）。
セルフタイマー	入／■切	セルフタイマーを設定する（22ページ）。
ホワイトバランス	■オート／☀／☁／蛍光灯／電球	ホワイトバランスを設定する（33ページ）。

モードスイッチが「🎞」で、メニューの［🎞］を選択しているとき

項目	設定	意味
サイズ	■320×240／160×112	動画撮影時の画像サイズを選ぶ（46ページ）。
フォーカス	■オート／🌷0.2m／👤0.5m／👥1.0m／▲∞	オートフォーカスを選択したり、フォーカスプリセットで距離を設定する（30ページ）。
セルフタイマー	入／■切	セルフタイマーを設定する（22ページ）。
ホワイトバランス	■オート／☀／☁／蛍光灯／電球	ホワイトバランスを設定する（33ページ）。

モードスイッチが「📷」または「🎞」で、メニューの［▭］を選択しているとき

項目	設定	意味
フォーマット	実行／キャンセル	" メモリースティック　デュオ "をフォーマット（初期化）する。フォーマットすると他機でプロテクト（誤消去防止機能）をかけた画像を含め、" メモリースティック　デュオ "に記録されているすべてのデータが消去されます。ご注意ください（51ページ）。
記録フォルダ作成	実行／キャンセル	新しいフォルダを作成する（25ページ）。
記録フォルダ変更	実行／キャンセル	画像を記録するフォルダを変更する（26ページ）。

モードスイッチが「▶」で、メニューの［▶］を選択しているとき

項目	設定	意味
削除	実行／キャンセル	選択中の画像の削除を実行する（50ページ）。
フォルダ内削除	実行／キャンセル	フォルダ内のすべての画像の削除を実行する（50ページ）。
4枚表示／1枚表示	—	4枚表示と1枚表示を切り換える（35ページ）。
DPOF	入／■切	プリント予約マークを付けたい／消したい静止画像を選ぶ（40ページ）。

モードスイッチが「▶」で、メニューの［▭］を選択しているとき

項目	設定	意味
フォーマット	実行／キャンセル	" メモリースティック　デュオ "をフォーマット（初期化）する。フォーマットすると他機でプロテクト（誤消去防止機能）をかけた画像を含め、" メモリースティック　デュオ "に記録されているすべてのデータが消去されます。ご注意ください（51ページ）。
プリント	—	PictBridge規格対応のプリンターと接続して、画像を印刷する（42ページ）。
再生フォルダ変更*	実行／キャンセル	再生したい画像の入っているフォルダを選ぶ（37ページ）。

* PictBridge規格対応のプリンターと接続しているときにも選択できます。印刷したい画像の入っているフォルダを変更できます（45ページ）。

PictBridge規格対応のプリンターと接続中に、メニューの［🖨］を選択しているとき

項目	設定	意味
1枚印刷	実行／キャンセル	PictBridge規格対応のプリンターと接続して、画像を印刷する（44ページ）。
日付挿入	—	印刷する画像に日付を挿入する（45ページ）。

以下のメニューはモードスイッチのどの位置でも行えます。

メニューの［▭］を選択しているとき

項目	設定	意味
LCD**ライト**	■入／切	液晶画面の明るさを選ぶ。［入］を選ぶと画面は明るく見やすくなるが、電池の消耗は早くなる（21ページ）。
画面表示	■入 切	– 表示可能なアイコンをすべて表示。 – 警告表示などを表示。

メニューの［🧰］を選択しているとき

項目	設定	意味
時計設定	表示設定 日時設定	– 日付の表示順を選ぶ（15ページ）。 ■［年／月／日］／［月／日／年］／［日／月／年］ – 時計を合わせる（15ページ）。
ビープ音	■入 シャッター 切	– コントロールボタン／シャッターボタンを押したときなどに、ブザーが鳴る。 – シャッターボタンを押したとき、ブザーが鳴る。 – 音は鳴らない。
USB	■標準／PTP	USB接続方法を選ぶ（54ページ）。
A **言語**	■日本語 ENGLISH	– メニュー項目／警告などを日本語で表示する。 – メニュー項目／警告などを英語で表示する。

使用上のご注意

置いてはいけない場所

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミがついて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー
- ベンジン
- アルコール
- 化学ぞうきん
- 殺虫剤のような揮発性のもの
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0°C～40°Cです。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき、など。

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

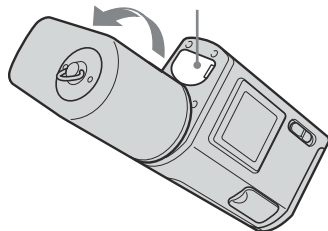
内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切に関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。
充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

充電方法

充電された単4形ニッケル水素電池を取り付け、電源を切ったまま24時間以上放置する。

- 充電式ボタン電池は以下の場所に内蔵されています。充電式ボタン電池内蔵部のふたや充電式ボタン電池は、一度取りはずすと元に戻せません。製品廃棄時以外は絶対に取りはずさないでください。

その他

“ メモリースティック ”について

“ メモリースティック ”(“ Memory Stick ”) は小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより大容量のIC記録メディアです。
“ メモリースティック ”のうち、本機で使えるのは下表のとおりです。ただし、すべての“ メモリースティック ”の動作を保証するものではありません。

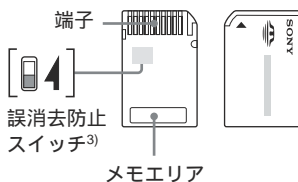
“ メモリースティック ”の種類	記録／再生
メモリースティック	×
メモリースティック　デュオ	○
メモリースティック　デュオ (マジックゲート／高速データ転送対応) [1]	○[2]
マジックゲート メモリースティック	×
マジックゲート メモリースティック　デュオ[1]	○
メモリースティック　PRO	×
メモリースティック PRO　デュオ[1]	○[2]

[1] マジックゲート搭載の“ メモリースティック　デュオ ”です。“ マジックゲート ”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録／再生はできません。

[2] 本機はパラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応しておりません。

- パソコンでフォーマットした“ メモリースティック　デュオ ”は、本機での動作を保証しません。
- お使いの“ メモリースティック　デュオ ” と機器の組み合わせによっては、データの読み込み／書き込み速度が異なります。

“ メモリースティック　デュオ ”使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチ[3]を先の細いものでスライドさせて「LOCK」にすると記録や編集、消去ができません。

誤消去防止スイッチ[3]の位置や形状は、お使いの“ メモリースティック　デュオ ”によって異なることがあります。

[3] 本機に付属の“ メモリースティック　デュオ ”には、誤消去防止スイッチはありません。ご使用の際は、誤ってデータを編集したり消去しないようご注意ください。

- データの読み込み中、書き込み中には“ メモリースティック　デュオ ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に“ メモリースティック　デュオ ”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “ メモリースティック　デュオ ”本体およびメモリースティック　デュオ　アダプターにラベルなどを貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。

- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。
  誤って飲み込む恐れがあります。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  ー高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  ー直射日光のあたる場所
  ー湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

メモリースティック　デュオ　アダプター（付属）使用上のご注意

- “メモリースティック　デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れてからお使いください。
  メモリースティック　デュオ　アダプターに装着されていない状態で挿入されますと“メモリースティック　デュオ”が取り出せなくなる場合があります。
- “メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認の上、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。
- “メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ　アダプターに装着して“メモリースティック”対応機器でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認の上ご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- メモリースティック　デュオ　アダプターに“メモリースティック　デュオ”が装着されていない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

“メモリースティック　PRO　デュオ”（別売り）使用上のご注意

本機で動作確認されている“メモリースティック　PRO　デュオ”は512 MBまでです。

ニッケル水素電池について

電池の上手な使いかた

- お買い上げ時や、長い間使用していないニッケル水素電池は充分充電されていないことがあります。本機をご使用になる直前に充電することをおすすめします。
- 周囲の温度が低いと電池の性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、電池を付属のバッテリーケースに収納した状態でポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- ［LCDライト］を［切］にすると、電池を長持ちさせることができます。
- フラッシュ撮影などを頻繁にすると、電池の消耗が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備電池を準備して、事前にためし撮りをしてください。
- 電池は防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。

電池の寿命について

- 電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境により異なります。

バッテリーチャージャーについて

- 付属のバッテリーチャージャーで、ソニーニッケル水素電池以外の電池は充電しないでください。指定以外の電池（マンガン乾電池、アルカリ乾電池、1次リチウム電池、ニカド電池など）を充電すると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり、やけどやけがをする恐れがあります。
- 充電したニッケル水素電池を連続して充電しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、感電の原因になります。
- 付属のニッケル水素電池以外の高容量電池を、付属のバッテリーチャージャーで充電した場合、表示の容量を得ることができないことがあります。
- CHARGEランプが点滅した場合は、電池の異常、または指定以外の電池が挿入された場合が考えられます。指定の電池かどうか確認してください。また、指定の電池を挿入している場合は、いったん電池を全部抜き、新品電池など別の電池を挿入してバッテリーチャージャーが正常に動作するか確認してください。
  バッテリーチャージャーが正常に動作する場合は電池の異常が考えられます。

主な仕様

■ 本体

[システム]

撮像素子 6.72 mm（1/2.7型）カラーCCD
原色フィルター

総画素数 約2 112 000画素

カメラ有効画素数
約2 020 000画素

レンズ 単焦点レンズ
f=5.0 mm（35 mmカメラ換算では33 mm）、F2.8

露出制御 自動、シーンセレクション（5モード）

ホワイトバランス
オート、太陽光、曇天、蛍光灯、電球

記録方式 静止画：DCF準拠（Exif Ver.2.2 JPEG準拠）、DPOF対応
動画：MPEG1準拠（音声なし）

記録メディア
“メモリースティック　デュオ”

フラッシュ 推奨撮影距離：0.5～1.8 m

[出力端子]

USB端子 mini-B

[液晶画面]

液晶パネル 2.5 cm（1.0型）TFT駆動

総ドット数 64 460（293×220）ドット

[電源・その他]

電源 単4形ニッケル水素電池（2本）、2.4 V
5 V（USBケーブルより供給）

消費電力（撮影時）
1.27 W

動作温度 0°C～+40°C

保存温度 –20°C～+60°C

外形寸法 99.9×40.5×24.9 mm
（幅×高さ×奥行、最大突起部含まず）

本体質量 約132 g（電池2本、“メモリースティック　デュオ”、ネックストラップ、レンズキャップなど含む）

Exif Print 対応

PRINT Image Matching II　対応

PictBridge 対応

■ Ni-MHバッテリーチャージャー BC-CS2A/CS2B

定格入力 AC 100～240 V 50/60 Hz、3 W

定格出力 単3形：DC 1.4 V、400 mA×2
単4形：DC 1.4 V、160 mA×2

使用温度 0°C～+40°C

保存温度 －20°C～+60°C

最大外形寸法
約71×30×91 mm
（幅×高さ×奥行）

本体質量 約90 g

付属品

- 単4形ニッケル水素電池
- バッテリーケース
- Ni-MHバッテリーチャージャー BC-CS2A／CS2B
- 電源コード
- USBケーブル
- ネックストラップ
- “ メモリースティック　デュオ ”(8 MB)
- メモリースティック　デュオ　アダプター
- レンズキャップ
- CD-ROM（USBドライバSPVD-010）
- サイバーショット取扱説明書
- 安全のために
- 保証書

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラや“メモリースティック　デュオ”などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

画面上の表示

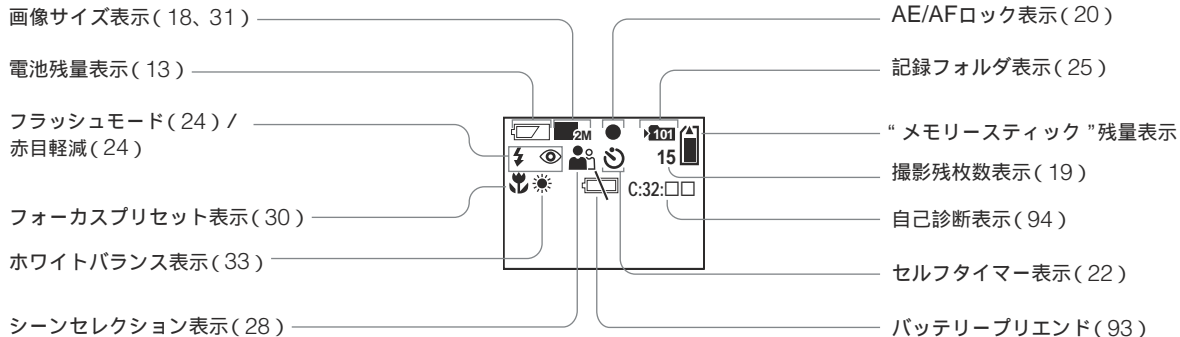
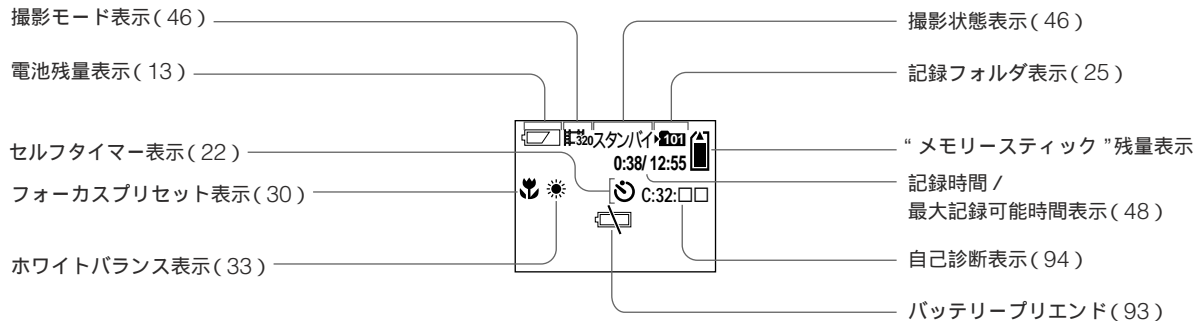
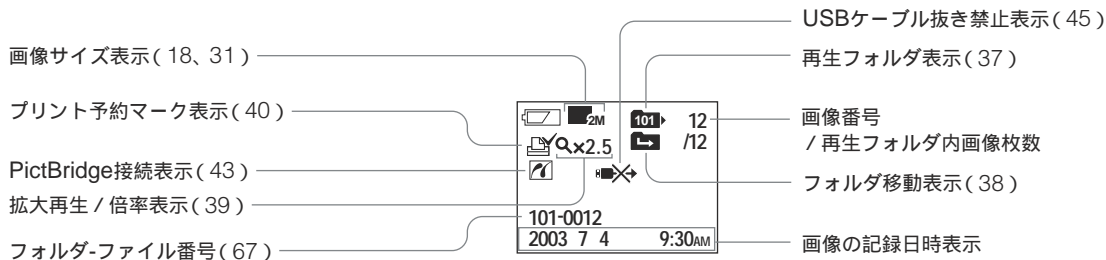
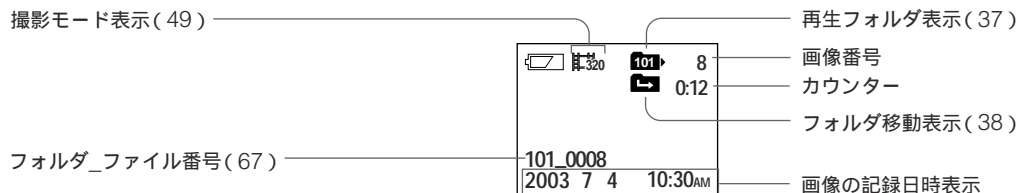
静止画撮影時

動画撮影時

撮影モード表示（46）
電池残量表示（13）
セルフタイマー表示（22）
フォーカスプリセット表示（30）
ホワイトバランス表示（33）
撮影状態表示（46）
記録フォルダ表示（25）
“メモリースティック”残量表示
記録時間／
最大記録可能時間表示（48）
自己診断表示（94）
バッテリープリエンド（93）
320
スタンバイ
101
0:38/ 12:55
C:32:□□

静止画再生時

動画再生時

用語の解説

インストール（55、69、70、75ページ）
ソフトウェアなどをパソコンにコピーして組み込むことです。

オートパワーオフ機能（15ページ）
本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、本機の電源を自動的に切る機能のことです。

ドライバ（55ページ）
どのような周辺機器がどのように接続されているかをパソコン側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアのことです。

半押し（20ページ）
シャッターを押し込まず、半分押した状態にしておくことです。シャッターを半押しすると、撮影状況に合わせてピントと露出を自動で調整します。

ピント（20ページ）
被写体に対する焦点のことです。本機はピントを自動で調整しますが、撮影距離を設定して撮影することもできます。

フォーマット（51ページ）
「初期化」とも言います。記録メディアにデータを書き込めるようにすることです。フォーマットすると、記録メディアに保存されているデータはすべて消えます。

フォルダ（25、37ページ）
本機で撮影した画像をまとめて格納する場所のことです。ファイルを分類するときに便利です。

ホワイトバランス（33ページ）
光源に合わせて色を調整する機能のことです。被写体の見た目の色は光の状況に影響されます。例えば、電球の下で撮影すると白い被写体が赤っぽく写ります。ホワイトバランスを設定すると、自然な色合いで撮影することができます。

“メモリースティック”（100ページ）
小さくて軽く、フロッピーディスクより容量が大きいIC記録メディアです。本機には、通常の“ メモリースティック ”より小型の“ メモリースティック　デュオ ”を使用します。

有効画素数（104ページ）
CCDが光から電気信号に変換できる画素数です。有効画素数から画像処理をしたものが記録画素数になります。

AE（20ページ）
「Auto Exposure」の略です。
被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能のことです。

AF（20ページ）
「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能のことです。

CCD（104ページ）
「Charge Coupled Device」の略で、光を電気信号に変換する半導体の一種のことです。

DCF（5ページ）
「Design rule for Camera File system」の略で、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された統一規格のことです。

DPOF（40ページ）
「Digital Print Order Format」の略で、「ディーポフ」と読みます。プリント予約したい写真を記録メディア上に指定することができます。

Exif（104ページ）
（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマットです。

JPEG（67ページ）
「ジェイペグ」と読みます。インターネットで扱う代表的なカラーの静止画を圧縮する形式のことです。本機では、通常の静止画撮影時、JPEG形式で画像を保存します。

MPEG（67ページ）
「エムペグ」と読みます。カラー動画像の圧縮方式のひとつで、品質の良い画像や高い圧縮形式が得られます。本機では、動画撮影時、MPEG形式で画像を保存します。

OS（54ページ）
「Operating System」の略で、パソコン全体を管理し、パソコンを操作するのに必要な基本ソフトウェアのことです。

PictBridge（42ページ）
「ピクトブリッジ」と読みます。カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格のことです。PictBridge規格対応のプリンターと本機を接続して、画像ファイルをプリントすることができます。

PTP（54、97ページ）
「Picture Transfer Protocol」の略です。パソコンに画像データを簡単にコピーできる接続方法のことです。

USB（53、55、69ページ）
「Universal Serial Bus」の略です。キーボードやマウスなどのパソコンの周辺機器を接続するための規格のことです。

USBバス電源供給（54、58ページ）
USB接続したパソコンから、周辺機器に電源を供給できる機能のことです。

VGA（19ページ）
「Video Graphics Array」の略で640×480の画像サイズのことです。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット

電話のおかけ間違いにご注意ください。

お客様へのサポートをより充実させていくため、「カスタマーご登録」をお勧めしています。
詳しくは同梱の「デジタルイメージングカスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■ **カスタマーご登録およびご登録内容の変更：**
http://www.sony.co.jp/di-regi/
お問い合わせ：**ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク**
電話：0466-38-1410
受付時間：**月～金曜日　午前10時～午後6時**（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

ご使用上での不明な点や技術的なご質問

テクニカルインフォメーションセンター
電話：　0564-62-4979
（電話のおかけ間違いにご注意ください。）
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
お電話の前に以下の内容をご用意ください。
①お客様のID
（カスタマーご登録していただくとIDが発行されます。）
②本機の型名（本機底面をご覧ください。）
③本機の製造番号（本機底面をご覧ください。）

パソコンとの接続方法や最新サポート情報

デジタルイメージングカスタマーサポート
http://www.sony.co.jp/support-di/

ImageMixer for Sonyに関するお問い合わせ窓口

ピクセラユーザーサポートセンター
電話：　072-224-0181
受付時間：月～日曜日
午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）
http://www.imagemixer.com

修理申し込み

製品の品質には万全を期しておりますが、万一不具合が生じた場合左記のテクニカルインフォメーションセンターへお電話ください。
お客様のお宅まで指定宅配便で取りにおうかがいします。

eco info
この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
http://www.sony.co.jp/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/
サイバーショット、マビカの最新情報を掲載。
撮影方法やアクセサリー情報、
パソコン接続に関する情報を掲載しています。

Printed in Japan